

平成 29 年 度

授業科目の解説 (1年用)

看護学科

島根大学医学部

平成29年度 授業時間割表 (看護学科1年)

前期

	1・2 8:30~10:00	3・4 10:15~11:45	5・6 12:45~14:15	7・8 14:30~16:00	9・10 16:15~17:45
月	英語 A Aクラス (玉木)(eステーション)			【教養育成科目】 生物有機化学 (吉田) (N21)	情報科学概論 (津本他) (情報科学演習室)
		英語 A Bクラス (玉木)(eステーション)			
火	【教養育成科目】 細胞生物学 (竹永)(L3)	【教養育成科目】 人間行動論 (田中)(L3)	看護学原論 (内田)(N11) 4/11は入門セミナー	社会福祉論 (山本) 未定	【教養育成科目】 統計学入門 (小林)(N11)
水	人間心理 (堀口他) (L3)	ドイツ語 (行重) (P3)	生命科学の歴史と倫理 (医学科と合同) (医学部長他)(L3)	フランス語(マストブリュー) (国際交流ラウンジ) 中国語(岡村)(視聴覚) 韓国・朝鮮語(朴)(L2)	看護学入門セミナー [4/26, 5/10, 24, 31 6/7, 21]
木	スポーツ実習 B(木原)	スポーツ実習 A(木原)		形態と機能 (橋本) (N11)	看護学入門セミナー [4/6, 13, 20, 27 5/18, 25, 6/8, 15,]
	英語 A A1クラス (テロイヤン)(L2)	英語 A B1クラス (テロイヤン)(L2)			
	英語 A A2クラス (マーフィ)(国際交流ラウンジ)	英語 A B2クラス (マーフィ)(国際交流ラウンジ)			
金	松 江 キ ャ ン パ ス				
		(日本国憲法)	フランス語(マストブリュー) 中国語(岡村) 韓国・朝鮮語(朴)	ドイツ語 (シュルツ)	

後期

	1・2 8:30~10:00	3・4 10:15~11:45	5・6 12:45~14:15	7・8 14:30~16:00	9・10 16:15~17:45
月		形態と機能 (橋本他) (N11)	英語 B Aクラス (中井)(eステーション)	英語 B Bクラス (中井)(eステーション)	情報科学演習 (津本他) (情報科学演習室)
			英語 B B2クラス (テロイヤン)(L2)	英語 B A2クラス (テロイヤン)(L2)	
			英語 B B1クラス (マーフィ)(国際交流ラウンジ)	英語 B A1クラス (マーフィ)(国際交流ラウンジ)	
火		援助関係論演習 (福間他) (N21), (第4実習室)	基礎看護学実習 (福間他) (N11), (N21), (第4実習室)		
水	【教職科目】 教育相談の理論と方法 (斎藤) (N12), (N202)	形態と機能 (橋本) (N11)	形態と機能(解剖実習) (橋本・小林・福田) 12/13, 12/20, 1/10(実習棟1階 第1実習室)		
			環境保健学 (小林他)(N11)		
木	ヘルスアセスメント技術演習 (福間他)(N21)・(第3実習室)		感染と免疫 (小林他) (N21)	人間心理 (堀口他) (L3)	栄養と代謝 (小林他) (N11)
金	健康・スポーツ 科学概論 (大谷他) (L3)		【教職科目】 人格発達心理学概説 (堤) 松江キャンパス	【教養育成科目】 長寿社会の健康なくらし (谷口他) (L3)	

内の数字等は、講義室を表す

* L 2...講義棟2階, L 3...講義棟3階, * P 3...実習棟3階

授業科目一覧

区分	科目・分野	授業科目名	単位数	履修年次		必修又は 選択必修 の別	授業担当教員等	
				1年次				
				前期	後期			
基礎科目	外国語	英語 A	p5	1	1	必修	嘱託講師 玉木 祐子	
		英語 B	p7	1	1	必修	外国語教育センター教授 中井 誠一	
		英語 A	p9	1	1	必修	講師 John A Telloyan,	
		英語 B	p11	1	1	必修	助教 Lynne Murphy	
	初修外国語	ドイツ語	p13	2	2	選択必修	ドイツ語 , フランス語 , 中国語 , 韓国・朝鮮語 は選択必修科目で、いずれか2単位を修得すること。	
		フランス語	p15	2	2	選択必修		
		中国語	p17	2	2	選択必修		
		韓国・朝鮮語	p19	2	2	選択必修		
	文化・健康・スポーツ	健康・スポーツ	健康・スポーツ科学概論	p21	2	2	必修	教授 大谷 浩 他
			スポーツ実習	p23	1	1	必修	嘱託講師 木原 勇夫
情報科学	情報科学	情報科学概論	p24	2	2	必修	教授 津本 周作 他	
		情報科学演習	p26	1	1	必修	教授 津本 周作 他	

区分	科目	分野	単位数	必修, 選択必修, 選択の別	備考	
教養育成科目	入門科目	人文社会科学分野	*	10	必修 (1科目) 「細胞生物学」	各分野には複数の授業が開講されるので、その中から科目を選択し、10単位以上修得すること。 ただし、入門科目・自然科学分野の「細胞生物学」は必修とする。 ** 社会人力養成科目は必修単位に含めることはできないが、養護教諭希望者は「日本国憲法」は必修。
		自然科学分野				
		学際分野				
	発展科目	人文社会科学分野	*	**	選択必修 (4科目)	
		自然科学分野				
		学際分野				
社会人力養成科目				選択		

【教養育成科目】(出雲キャンパスで実施される科目一覧)

* 松江キャンパスで実施される科目は、pp75～79に掲載

区分	科目・分野	授業科目名	単位数	履修年次		必修又は 選択必修 の別	授業担当教員等
				1年次			
				前期	後期		
教養育成科目	入門科目 (人文社会科学分野)	人間行動論	p29	2	2	選択必修	法文学部准教授 田中 一馬
	入門科目 (自然科学分野)	細胞生物学	p31	2	2	必修	准教授 竹永 啓三
		生物有機化学	p32	2	2	選択必修	特任教授 吉田 正人
		統計学入門	p33	2	2	選択必修	特任教授 小林 裕太
	発展科目 (学際分野)	長寿社会の健康なくらし	p35	2	2	選択必修	教授 谷口 栄作 他

区分	科目	授業科目名	単位数	履修年次		必修又は選択必修の別	授業担当教員等
				1年次			
				前期	後期		
専門教育科目	専門基礎科目	人間心理 p37	2	2		必修	教授 堀口 淳 他
		人間心理 p39	2		2	選択	教授 堀口 淳 他
		感染と免疫 p41	2		2	必修	特任教授 小林 裕太 他
		生命科学の歴史と倫理 p43	2	2		必修	医学部長 他
		形態と機能 p45	2		2	必修	教授 橋本 龍樹 他
		形態と機能 p48	2		2	必修	教授 橋本 龍樹
		環境保健学 p50	2		2	必修	特任教授 小林 裕太 他
		栄養と代謝 p52	2		2	必修	特任教授 小林 裕太 他
		社会福祉論 p54	2	2		選択	嘱託講師 山本 眞一
		海外研修 A p56	1			自由	教授 岩田 淳
		海外研修 B p57	1			自由	募集時に決定
海外研修 C p58	1			自由	審査後決定		

区分	科目	授業科目名	単位数	履修年次		必修又は選択必修の別	授業担当教員等
				1年次			
				前期	後期		
専門教育科目	専門科目	看護学原論 p59	2	2		必修	教授 内田 宏美
		援助関係論演習 p61	1		1	必修	准教授 福間 美紀 他
		ヘルスアセスメント技術演習 p63	1		1	必修	准教授 福間 美紀 他
		基礎看護学実習 p65	1		1	必修	准教授 福間 美紀 他

【教職に関する科目】養護教諭希望者は全て必修

区分・科目	授業科目名	単位数	開講時期		開講時間	授業担当教員等	開講場所
			1年次				
			前期	後期			
教職に関する科目	教職概論 C p67	2	2		集中	教育学部教授 権藤 誠剛	松江キャンパス
	教育原論 p68	2		2	集中	嘱託講師 中島 千恵	出雲キャンパス
	人格発達心理学概説 p69	2		2	金 5・6	嘱託講師 堤 雅雄	松江キャンパス
	教育社会学概説 p70	2		2	集中	教育学部准教授 香川奈緒美	松江キャンパス
	教育相談の理論と方法 p72	2		2	水 1・2	嘱託講師 斎藤 渉	出雲キャンパス

養護教諭一種免許状取得のための教職に関する科目の履修について (p80)

平成29年度オフィスアワー一覧 (p81)

基 礎 科 目

授業科目名	英 語 A	担当教員	嘱託講師 玉木 祐子		
開講年次及び学期	1年 前期 (A・Bクラス)	必修・選択の別	必修		
開講形態	演習	時間数	30	単位数	1
<p>授業概要</p> <p>科学，医学分野のトピックを題材に，基本語彙，構文，表現を学習しながら4技能（リスニング・スピーキング・リーディング・ライティング）の向上を目指します。授業ではテキストのほか，オンライン学習，対話力向上を目的としたペア・グループによるコミュニケーション活動を行います。また，TOEIC受験対策としてのリーディング問題演習を並行して実施します。</p>					
<p>G I O（一般目標）</p> <p>4技能の総合力養成を軸に，科学，健康分野に関する基本語彙，構文，表現を学びながら，看護師として必要な実践的英語読解，コミュニケーション能力の基礎を習得する。</p>					
<p>S B O（行動目標）</p> <p>医学，科学に関するトピックについて，</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 英文読解に必要な重要語彙，文法，構文が理解できる。 (2) 英文を読み，内容を正確に理解できる。 (3) 英語で概要をまとめたり，自分の意見を発表できる。 (4) 英文や会話を聞いて，内容を正確に理解できる。 					
<p>成績評価の方法</p> <p>定期試験 50%（中間 25%，期末25%），TOEIC-IP Reading Section 20%，授業への取り組み（小テスト20%・出席等10%）30% *2/3以上の出席がない場合，未修とします（遅刻3回で1回分の欠課とみなします）。</p>					
<p>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教科書・参考書・視聴覚・その他の教材 <ul style="list-style-type: none"> ・『New Moments in Science (やさしい生活科学)』, ISBN4-7919-4073-3, 成美堂 ・Longman Preparation Series for the TOEIC Test (5E) Introductory Student Book with MP3 Audio CD-ROM, Answer Key and iTests Lin Lougheed (著), Pearson Japan; 5th 2. その他の教材 <ul style="list-style-type: none"> ・英和辞書（電子辞書も可） ・医学部基本語彙集（授業開始時に配布） ・プリント教材（授業で配布） ・『公式TOEIC Listening & Reading問題集1・2』（国際ビジネスコミュニケーション協会） 					
<p>オフィスアワー</p> <p>月曜 13:30～16:30</p>					

授業計画

回	授業日	テーマ	授業内容	備考
1	4月10日	Introduction		
2	4月17日	Chapter 1	Medical Truth・TOEIC演習	
3	4月24日	Chapter 2	TV Makes You Fat・TOEIC演習	
4	5月1日	Chapter 3	Melatonin and Jet Lag・TOEIC演習	
5	5月8日	Chapter 4	Fever・TOEIC演習	
6	5月15日	Chapter 5	How Maggots Cure・TOEIC演習	
7	5月22日	Chapter 6	Titan・TOEIC演習	
8	5月29日	REVIEW		
9	6月5日	Chapter 7	The ABC of CPR・TOEIC演習	
10	6月12日	Chapter 8	Light Travels Awfully Fast・TOEIC演習	
11	6月19日	Chapter 9	History of Coffee・TOEIC演習	
12	6月26日	Chapter 10	Melatonin・TOEIC演習	
13	7月3日	Chapter 11	Gravity Force・TOEIC演習	
14	7月10日	Chapter 12	Caffeine・TOEIC演習	
15	7月24日	Chapter 13	How You Regulate Heat・TOEIC演習	
16	未定	Term Exam		

備考

授業科目名	英 語 B	担当教員	外国語教育センター 教授 中井 誠一		
開講年次及び学期	1年 後期 (A・Bクラス)	必修・選択の別	必修		
開講形態	演習	時間数	32	単位数	1
<p>授業概要</p> <p>この授業では、総合的なコミュニケーション能力養成のために、TOEIC演習のeラーニングを行うと共に、食文化と映画に関するトピックを取り上げた英文教材を使用して、リーディング能力の向上を目指します。まず、前半30分で NetAcademy 2を利用して、TOEICテスト演習を行います。後半は、テキストの各トピックの英文をパラグラフの内容を把握しながら、重要な英文の文法や構造を確認します。また、内容把握や文法の問題を行って、理解の定着を図ります。</p>					
<p>G I O (一般目標)</p> <p>総合的な英語コミュニケーション能力向上を目指した語学演習と、食文化・映画を含む分野で頻出する英語語彙、構文、表現に関する語学演習により、英語コミュニケーション能力の基礎を身につける。</p>					
<p>S B O (行動目標)</p> <p>食文化と映画に関するトピックについて、</p> <p>(1) 英文を読み、概要を理解し要約することができる。</p> <p>(2) 英文読解に必要な基本語彙、文法、構文が理解できる。</p> <p>TOEIC形式の問題演習により、</p> <p>(1) 日常的なトピックに関する英文を読み、概要を理解できる。</p> <p>(2) TOEIC Reading Sectionに対応する力を養成する。</p>					
<p>成績評価の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中間・期末試験 65% ・ TOEIC IP 20% ・ TOEICテスト演習課題 5% ・ 授業への取り組み (単語演習、授業の準備、出席など) 10% 					
<p>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教科書 <ul style="list-style-type: none"> ・ <i>A Taste of English: Food and Fiction</i> (朝日出版社) 2. 副教材 <ul style="list-style-type: none"> ・ <i>Longman Preparation Series for the TOEIC Test: Introductory Course</i> (Pearson) 3. その他の教材 <ul style="list-style-type: none"> ・ 英和辞書 (電子辞書も可) 					
<p>オフィスアワー</p> <p>月曜日 12:25 ~ 12:45, 16:00 ~ 16:20</p> <p>教員室 (講義棟 2 階)</p>					

授業計画

回		テ ー マ	授 業 内 容
1	10月2日	Introduction	オンラインレベル診断テスト
2	10月11日	Chapter 1: Kramer vs. Kramer	オンライン演習1, リーディング1
3	10月16日	Chapter 2: The Devil Wears Prada	オンライン演習2, リーディング2
4	10月23日	Chapter 3: Super size Me	オンライン演習3, リーディング3
5	10月30日	Chapter 4: Kamome Shokudo	オンライン演習4, リーディング4
6	11月6日	Chapter 6: Notting Hill	オンライン演習5, リーディング5
7	11月13日	Chapter 7: No Reservations	オンライン演習6, リーディング6
8	11月20日	前半のまとめと確認	
9	11月27日	Chapter 8: Dear Frankie	オンライン演習7, リーディング7
10	12月4日	Chapter 9: Seabiscuit	オンライン演習8, リーディング8
11	12月11日	Chapter 10: Charlie and the Chocolate Factory	オンライン演習9, リーディング9
12	12月18日	Chapter 11: Everybody's Fine	オンライン演習10, リーディング10
13	1月15日	Chapter 13: A Simple Life	オンライン演習11, リーディング11
14	1月22日	Chapter 14: A Touch of Spice	オンライン演習12, リーディング12
15	1月29日	後半のまとめ	
16	2月5日	期末試験	

備 考

トピックはクラスによって異なります。

授業科目名	英語 A・B (Telloyan)	担当教員	講師 John A. Telloyan		
開講年次及び学期	1年 前期・後期	必修・選択の別	必修		
開講形態	演習	時間数	32	単位数	各1
<p>授業概要</p> <p>This course has a goal to increase the health awareness of Japanese students and at the same time give them practice in English conversation. We will use a communicative, student-centered, content-based text designed for young Japanese adults at an intermediate level. The general objective is to develop the four skills of listening, speaking, reading and writing with an emphasis on speaking and listening. Important health points will be stressed which we hope will not only give us English material to study, but will result in healthier lives in the future for our students.</p>					
<p>G I O (一般目標)</p> <p>This class will be presented in a serious, authoritative style, yet will use humorous illustrations and dialogues to give it a lighthearted touch. Important health points will be stressed and reiterated throughout the lessons. A number of uncommon, health-related words and expressions will also be taught. The students will have many opportunities in class to practice listening and speaking English using health-related topics.</p>					
<p>S B O (行動目標)</p> <p>Listening and speaking: Mastery of key vocabulary and sentence patterns essential to basic conversational skills.</p> <p>Writing: Mastery of key basic writing skills.</p> <p>Reading: Mastery of important reading skills.</p>					
<p>成績評価の方法</p> <p>Attitude: 10% 1) students must attend at least 2/3 of classes to be able to take test</p> <p>TOEIC listening: 20% 2) 3 times late to class equals an absence</p> <p>Test: 70% 3) each student must purchase their own NEW textbooks</p>					
<p>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</p> <p>(1) Textbook: Healthtalk Author: Bert McBean Company: McMillan Language House ISBN: 978-4-7773-6486-2</p> <p>(2) Longman Preparation Series for the TOEIC Test Introductory Course (5th edition) Author: Lin Lougheed Company: Pearson</p>					
<p>オフィスアワー</p> <p>掲示板に掲示し周知する。</p>					

授業計画

回	テ - マ	授 業 内 容	備 考
1	Introduction	Class introduction; Student introductions	
2	You can live to be a hundred	Reading, dialogue practice, key questions, vocab	
3	Ten ways to prevent cancer	Reading, true-false questions, dialogue, vocab	
4	Smoking tobacco is dangerous	Reading, matching vocab, getting information	
5	The Environment and your health	Reading, true-false questions, dialogue, listening	
6	Exercise for good health	Reading, true-false questions, dialogue, word game	
7	Healthy food for a healthy body	Reading, using key words, dialogue practice	
8	Alcohol can be dangerous	Reading, true-false questions, matching, listening	
9	Stress can ruin your health	Reading, true-false questions, finish the sentence	
10	Obesity is a bad thing	Reading, true-false questions, finish the sentence	
11	Dental care for healthy teeth	Reading, true-false questions, using key words	
12	The AIDS crisis concerns everyone	Reading, true-false questions, matching for learning	
13	Depression	Reading, true-false questions, getting info, pair work	
14	Units 1-12 review		
15	Units 7-12 review		
16	Final Exam		
備 考			

授業科目名	英語 A・B (Murphy)	担当教員	助教 Lynne Murphy			
開講年次及び学期	1年 前期・後期	必修・選択の別	必修			
開講形態	演習	時間数	前期32, 後期32	単位数	各 1	
<p>授業概要</p> <p>This course is designed to help 1st year nursing students improve their presentation skills. By practicing a variety of communicative techniques through listening, speaking, reading, and writing, the students will gain sufficient knowledge and confidence to enable them to present effectively in English.</p>						
<p>G I O (一般目標)</p> <p>Having learned key vocabulary and basic sentence patterns, the students will proceed to experiment with more advanced communicative tasks such as original dialogue and self-expression through writing. Based upon the knowledge acquired through these tasks, the students will give a presentation.</p>						
<p>S B O (行動目標)</p> <p>First, the students will complete vocabulary and listening tasks. Then, they will move on to practice speaking and review grammar. After reading, they will exercise their self-expression before finally giving a presentation.</p>						
<p>成績評価の方法</p> <p>Attitude: 10% TOEIC listening: 20% Presentations: 10% Final exam: 60%</p> <p>Students must have attended 2/3 of classes to be able to sit the final exam.</p> <p>If students have been late 3 times, it will be marked as an absence.</p> <p>Students must have a new textbook with no writing in it.</p>						
<p>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</p> <p>(1) Book: Stretch 1 Authors: Susan Stempleski Company: Oxford University Press ISBN: 978 0 19 460 312 6</p> <p>(2) Longman Preparation Series for the TOEIC Test Introductory Course (5th edition) Authors: Lin Lougheed Company: Pearson</p>						
<p>オフィスアワー</p> <p>掲示板に掲示し周知する。</p>						

授業計画

回	テ - マ	授 業 内 容	備 考
1	Unit 1: Jobs	Practice of the 4 skills plus presentation	
2	Unit 2: Daily activities	Practice of the 4 skills plus presentation	
3	Unit 3: at the moment	Practice of the 4 skills plus presentation	
4	Units 1-3 Review	Review Lesson	
5	Unit 4: Feelings	Practice of the 4 skills plus presentation	
6	Unit 5: On the weekend	Practice of the 4 skills plus presentation	
7	Unit 6: Downtown	Practice of the 4 skills plus presentation	
8	Units 4-6 Review	Review Lesson	
9	Unit 7: People we admire	Practice of the 4 skills plus presentation	
10	Unit 8: At a supermarket	Practice of the 4 skills plus presentation	
11	Unit 9: Health Problems	Practice of the 4 skills plus presentation	
12	Units 7-9 Review	Review Lesson	
13	Unit 10: Cities	Practice of the 4 skills plus presentation	
14	Unit 11: Music	Practice of the 4 skills plus presentation	
15	Unit 12: Travel Plans	Practice of the 4 skills plus presentation	
16	Final Review	Review Lesson	
備 考			

授業科目名	ドイツ語	担当教員	外国語教育センター 行重 耕平, Roland Schulz		
開講年次及び学期	1年 前期	必修・選択の別	選択必修		
開講形態	演習	時間数	60	単位数	2
<p>授業の目的</p> <p>読む・書く・聴く・話すという4技能のバランスに配慮して、ドイツ語の基礎的運用能力を身につけることが目的です。また、英語以外の外国語を学ぶことで、文化の多元的理解を目指します。</p>					
<p>達成目標（達成度）</p> <p>ドイツ語では、以下の4項目をドイツ語・4単位修得時の到達目標としています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ドイツ語技能検定試験（独検）4級程度のドイツ語を理解し、適切に運用することができる。（知識・態度・技能） 2. 現代ドイツ語圏文化を理解することができる。（知識） 3. 英語以外の外国語を学ぶことで、日本語、日本文化をより客観的に見る視点を獲得し、多くの文化が共生する地球に生きている自覚と責任を持つことができる。（態度） 4. 大学生として新たな外国語を学ぶことで、これまでの学習方法や学習観を自ら振り返って客観化でき、それらを主体的・能動的に転換することができる。（態度・技能） 					
<p>授業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業のオリエンテーション、アルファベット、つづりの読み方と発音 2. Lektion 1. やあ、僕はナオキ【動詞の人称変化】 3. Lektion 2. あっちの方にあるのが郵便局【名詞の性】 4. Lektion 3. 今小説を読んでいるところ【名詞の格変化】 5. Lektion 4. お皿とカップとグラスはここよ！【名詞の複数形】 6. Lektion 5. 夏休みには何をやるの？【前置詞】 7. Lektion 6. これが私の両親【冠詞類】 8. 授業前半のまとめ 中間試験（授業時間中に担当教員が実施）とその検討 9. Lektion 7. テレビを見てるの？【分離動詞】 10. Lektion 8. 4時にパウルとユーリアと会うことにしてる【再帰動詞】 11. Lektion 9. 鍵を見つけられないんだ【話法の助動詞】 12. Lektion 10. ここには黒い帽子と小さな人形と古いラジオがあるよ【形容詞の格変化】 13. Lektion 11. ハンブルクとミュンヘンではどっちの町の方が大きいの？【比較の表現】 14. Lektion 12. ティーロには今朝もう会った？【現在完了形】 15. 総復習 16. 期末試験 					
<p>授業の進め方</p> <p>水曜日3・4時限に出雲キャンパスで、金曜日7・8時限に松江キャンパスで学びます。教科書は、日常的な会話テキストを通して、ドイツ語を楽しみながら学習していくドイツ語初級教科書です。教科書の順序にそって、おおよそ次のように学習していきます。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 各課の本文を聞き、声に出して発音します。単語や文の意味を確かめます。 (2) 各課のキーセンテンスについての文法説明を読み、理解します。 (3) キーとなる文法を理解し、本文に音声的に慣れたら、次に、ペア練習に移ります。クラス全体で練習した後、単語を替えながらパートナー練習をします。 (4) 各課の文法を詳しく説明します。教科書に書き込みながら、段階的に着実に理解します。 (5) 獲得した文法知識をもとに、もう一度本文を復習し、さらに、話したり、聞いたり、読んだり、書いたり練習をします。 <p>また、折に触れ、さまざまなドイツ事情についても紹介します。</p>					

授業キーワード

ドイツ語，現代ドイツ語圏文化，言語運用能力，多文化理解

テキスト

『ドイツ語ベーシック・コース（改訂版）』大藪・シュルツ・西脇・行重著，三修社
ISBN978-4-384-12274-9（¥2,600＋税）

参考文献

辞書は必携です。（授業のオリエンテーションで説明，紹介します。）その他，授業中に適宜紹介します。

その他授業資料等

必要に応じてプリントを配布します。

成績評価の方法

1. 中間試験40点...達成目標 1・2（知識・態度・技能）の評価
2. 期末試験40点...達成目標 1・2（知識・態度・技能）の評価
3. 平常点20点（何を平常点とするかは授業のオリエンテーションで説明します）...達成目標 3・4（態度・技能）の評価
4. 正当な理由なく9回以上欠席した場合は成績評価の対象外となります。

履修上の指導

授業1回あたり，1時間～1時間半の授業外学習が前提です。
中間試験の成績が60%未満の人は，点数に応じた補習を受けることができます。決められた補習をきちんと行った人の中間試験成績は，60%に補正されます。

オフィスアワー

松江キャンパス外国語教育センターワークステーションで行います。
教員タイムテーブル（<http://cfle.shimane-u.ac.jp/center/timetable.html>）を参照してください。

その他

外国語教育センターホームページ：<http://cfle.shimane-u.ac.jp/>
ドイツ語ホームページ：<http://cfle.shimane-u.ac.jp/german/>

授業科目名	フランス語	担当教員	外国語教育センター マスドブリュー・クリストフ		
開講年次及び学期	1年 前期	必修・選択の別	選択必修		
開講形態	演習 (医学科・看護学科合同)	時間数	60	単位数	2
<p>授業概要</p> <p>読む・聞く・話す・書くという4技能のバランスのとれたフランス語の運用能力をやしなうことが目的です。また、英語以外の外国語を学ぶことで、多元的文化の理解を目指します。</p>					
<p>達成目標 (達成度)</p> <p>フランス語では、以下の4項目を選択必修4単位修得時の到達目標としています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実用フランス語技能検定試験 (仏検) 4級程度のフランス語を理解し、適切に運用することができる。(知識・態度・技能) 2. 現代フランス語圏文化を理解することができる。(知識) 3. 英語以外の外国語を学ぶことで、日本語、日本文化をより客観的に見る視点を獲得し、多くの文化が共生する地球に生きている自覚と責任を持つことができる。(態度) 4. 大学生として新たな外国語を学ぶことで、これまでの学習方法や学習観を自ら振り返って客観化でき、それらを主体的・能動的に転換することができる。(態度・技能) 					
<p>授業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業のオリエンテーション フランス、フランス語への誘い フランス語の文字と音・つづり字の読み方 2. あいさつ、自己紹介のための基本表現とそのヴァリエーション フランス語の文字と音、つづり字の読み方 名詞の性と数 3. 「名詞」の性と数、およびその関連 動詞《ETRE》の活用 人称代名詞・形容詞 4. 動詞《AVOIR》の活用 所有形容詞 5. 「第一群規則動詞 (《-er》型)」の活用 6. 「映画にはよく行きますか？」 動詞《ALLER, VENIR》の活用 7. 「第二群規則動詞」の活用 8. 授業前半のまとめ 中間試験(授業時間中に担当教員が実施) とその検討 9. 助動詞を使ったいろいろな表現 10. 動詞《FAIRE》を使った色々な表現 11. 題名動詞の用法 12. 過去の表現「複合過去形」の形と用法 (1) 13. 過去の表現「複合過去形」の形と用法 (2) 14. 「単純未来形」の形と用法 15. 後半のまとめと練習 16. 期末試験 (「フランス語 統一試験」日時、場所等は後日掲示します。) 					
<p>授業の進め方</p> <p>本授業は、文法と会話で構成される1科目の授業です。成績評価は、両授業の成績を総合して行います。それぞれの授業では、学習内容の理解度を確認するため、小テストや単元のまとめテスト等を行います (授業期間中)。また課題提出や口頭発表も適宜行います。</p>					

<p>授業キーワード フランス語，現代フランス語圏文化，言語運用能力，多文化理解</p>
<p>テキスト 「Entre Amis」小松祐子，ジル・デルメール，朝日出版社，2013年 ISBN978-4-255-35232-9</p>
<p>参考文献 授業中に適宜紹介します。</p>
<p>その他授業資料等 各自，仏和辞典を持参すること（オリエンテーションの際に紹介します）。必要に応じ，プリントで資料を配付します。 その他，映像・音声資料を使います。</p>
<p>成績評価の方法 1. 中間試験40点...達成目標 1・2（知識・態度・技能）の評価 2. 期末試験40点...達成目標 1・2（知識・態度・技能）の評価 3. 平常点20点（何を平常点とするかは授業のオリエンテーションで説明します）...達成目標 3・4（態度・技能）の評価 4. 正当な理由なく9回以上欠席した場合は成績評価の対象外となります。</p>
<p>履修上の指導 授業1回あたり，1時間～1時間半の授業外学習が前提です。 中間試験の成績が60%未満の人は，点数に応じた補習を受けることができます。決められた補習をきちんと行った人の中間試験成績は，60%に補正されます。</p>
<p>オフィスアワー 松江キャンパス外国語教育センターワークステーションで行います。 教員タイムテーブル（http://cfle.shimane-u.ac.jp/center/timetable.html）を参照してください。</p>
<p>その他 外国語教育センターホームページ：http://cfle.shimane-u.ac.jp/ フランス語ホームページ：http://cfle.shimane-u.ac.jp/french/</p>

授業科目名	中国語	担当教員	外国語教育センター 岡村 宏章		
開講年次及び学期	1年 前期	必修・選択の別	選択必修		
開講形態	演習 (医学科・看護学科合同)	時間数	60	単位数	2
<p>授業の目的</p> <p>読む・書く・聴く・話すという4技能のバランスに配慮して、中国語の基礎的運用能力を身につけることが目的です。また、英語以外の外国語を学ぶことで、文化の多元的理解を目指します。</p>					
<p>達成目標 (達成度)</p> <p>中国語では、以下の4項目を中国語 ・ 4単位修得時の到達目標としています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 中国語能力検定試験 (中検) 4級程度の中国語を理解し、適切に運用することができる。(知識・態度・技能) 2. 現代中国語圏文化を理解することができる。(知識) 3. 英語以外の外国語を学ぶことで、日本語、日本文化をより客観的に見る視点を獲得し、多くの文化が共生する地球に生きている自覚と責任を持つことができる。(態度) 4. 大学生として新たな外国語を学ぶことで、これまでの学習方法や学習観を自ら振り返って客観化でき、それらを主体的・能動的に転換することができる。(態度・技能) 					
<p>授業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業のオリエンテーション 2. 中国語の発音(1) (単母音・声調) 3. 中国語の発音(2) (子音・複合母音) 4. 中国語の発音(3) (鼻母音・発音規則) 5. “是” 構文, 人称代名詞, “吗” 疑問文, 副詞 “不” “也” “都” 6. 動詞述語文, 疑問詞疑問文(1), 構造助詞 “的”, 指示代詞 7. 形容詞述語文, 反復疑問文, 程度副詞 “非常, 不太, 有点儿” の用法 8. 授業前半のまとめ 中間試験 (授業時間中に担当教員が実施) とその検討 9. 存在表現 “有” “在” の用法, 副詞 “只” の用法, 方位詞 10. 量詞, 否定表現 “没”, 名詞述語文, 時刻などの言い方, 11. 二重目的語を取る動詞, 前置詞 “为” の用法, 年月日・曜日・季節 12. 中国語の連動文, 疑問詞疑問文(2), “几” と “多少” 13. お金の言い方, 語気助詞 “吧” の用法, 禁止の表現 “别” 14. 中国語のアスペクト(1): 進行相 “在”, 完了相 “了”, “还没” 15. 中国語のアスペクト(2): 経験相 “过”, 数量補語, 語気助詞 “了” 16. 期末試験 (「中国語」統一試験。日時, 場所等は掲示します。) 					
<p>授業の進め方</p> <p>中国語 は、中国語をはじめて学ぶ人を対象とし、発音の基礎及び初級レベルの文法事項をマスターすることを目標としています。また、日常生活に必要な表現を学び、中国語の運用能力を身につけます。</p> <p>具体的には、発音段階では、ピンインや声調を繰り返して練習し、中国語の発音をしっかりと身につけます。第6課以降は、おおよそ次のように学習していきます。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 各課の新出単語の読み方を確認し、意味や用法等を説明します。 (2) 本文を聞き、声に出して発音します。各課の文法項目を詳しく説明すると共に、作文練習をします。 (3) 短文の「理解を深めよう」を聞き、読むことによって関連の単語や文法項目や表現等への理解を深めていきます。 (4) 練習問題で既習した内容を総合的に確認し、重要文型や関連内容を確実にマスターします。 (5) 授業中、作文や会話の練習を多く取り入れ、学んだ知識を運用できるように訓練します。また必要に応じて宿題を出します。 (6) 授業の内容に合わせて様々な中国事情・文化を適宜に紹介します。 					

授業キーワード

中国語, 現代中国語圏文化, 言語運用能力, 多文化理解

テキスト

『佳縁漢語』(朝日出版社)

参考文献

辞書など授業で説明します。

その他授業資料等

プリントなど, 授業において適宜配布します。

成績評価の方法

1. 中間試験40点...達成目標 1・2 (知識・態度・技能) の評価
2. 期末試験40点...達成目標 1・2 (知識・態度・技能) の評価
3. 平常点20点 (何を平常点とするかは授業のオリエンテーションで説明します)...達成目標 3・4 (態度・技能) の評価
4. 正当な理由なく9回以上欠席した場合は成績評価の対象外となります

履修上の指導

授業1回あたり, 1時間~1時間半の授業外学習が前提です。

中間試験の成績が60%未満の人は, 点数に応じた補習を受けることができます。決められた補習をきちんと行った人の中間試験成績は, 60%に補正されます。

オフィスアワー

松江キャンパス外国語教育センターワークステーションで行います。

教員タイムテーブル (<http://cfle.shimane-u.ac.jp/center/timetable.html>) を参照してください。

その他

外国語教育センターホームページ: <http://cfle.shimane-u.ac.jp/>

中国語ホームページ: <http://cfle.shimane-u.ac.jp/chinese/>

授業科目名	韓国・朝鮮語	担当教員	外国語教育センター 朴 瑞庚		
開講年次及び学期	1年 前期	必修・選択の別	選択必修		
開講形態	演習 (医学科・看護学科合同)	時間数	60	単位数	2
<p>授業の目的</p> <p>読む・聴く・話す・書くという4技能バランスのとれた韓国・朝鮮語の運用能力を養うことが目的です。また、英語以外の外国語を学ぶことで、多元的文化の理解を目指します。</p>					
<p>達成目標 (達成度)</p> <p>韓国・朝鮮語では、以下の4項目を韓国・朝鮮語・4単位修得時の到達目標としています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ハングル能力検定試験 (ハングル検定) 4級, 韓国語能力試験 1級程度の韓国・朝鮮語を理解し, 適切に運用することができる。(知識・態度・技能) 2. 現代韓国・朝鮮語圏文化を理解することができる。(知識) 3. 英語以外の外国語を学ぶことで, 日本語, 日本文化をより客観的に見る視点を獲得し, 多くの文化が共生する地球に生きている自覚と責任を持つことができる。(態度) 4. 大学生として新たな外国語を学ぶことで, これまでの学習方法や学習観を自ら振り返って客観化でき, それらを主体的・能動的に転換することができる。(態度・技能) 					
<p>授業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業のオリエンテーション 2. 第1課 こんにちは 決まり文句1【母音 , 】 3. 第2課 ありがとうございます 決まり文句2【子音 】 4. 第3課 お会いできてうれしいです 決まり文句3【子音 】 5. 第4課 よろしく申し上げます 決まり文句4【パッチム】 6. 第5課 私は鈴木理沙です 初対面 【～が, ～は, ～です/ですか, 僕/～ではありません, 私】 7. 第6課 どこの国の人ですか 出身を尋ねる 【～です/～ですか, この/その/あの/どの, ～の】 8. 授業前半のまとめ 中間試験 (授業時間中に担当教員が実施) とその検討 9. 第7課 地下鉄はどこで乗りますか 道探し 【～から～まで, ～に/～へ, ～で/～に・～へ, ～です/ます, ～ですか/ますか, ～てください】 10. 第8課 韓国料理が好きです 食堂で 【～を, ～が好きです/嫌いです, ～と, ～したい】 11. 第9課 電話番号は何番ですか 電話 【漢字語の数字, 電話番号の読み方, 尊敬語, ～も, ～(し)ている】 12. 第10課 これはいくらですか 値段を尋ねる 【～ではない/～くない, ～して/～くて, ～より, ～に】 13. 第11課 今度の日曜日は何をしますか 約束, 天気 【固有語の数字, 時間の読み方, 月と日の読み方, ～から～まで, ～たち, ～ら】 14. 第12課 バースデーのパーティをしました 誕生日 【過去形, ～になる, 時間を表す表現】 15. 総復習 16. 期末試験 					

授業の進め方

水曜日 7・8 時限に出雲キャンパスで、金曜日 5・6 時限に松江キャンパスで学びます。
まず、一緒に声を出して発音練習を重ねていきます。発音が最も重要なので、積極的に発音の要領を習得しましょう。各文法事項については、丁寧に解説し、簡単な例文を覚えながら、マスターしていきます。

授業キーワード

韓国・朝鮮語、現代韓国・朝鮮語圏文化、言語運用能力、多文化理解

テキスト

『だんだん 韓国語』，朝日出版社

参考文献

授業中に紹介します。

その他授業資料等

適宜，プリントを配布します。

成績評価の方法

1. 中間試験40点...達成目標 1・2 (知識・態度・技能) の評価
2. 期末試験40点...達成目標 1・2 (知識・態度・技能) の評価
3. 平常点20点 (何を平常点とするかは授業のオリエンテーションで説明します)...達成目標 3・4 (態度・技能) の評価
4. 正当な理由なく 9 回以上欠席した場合は成績評価の対象外となります。

履修上の指導

授業 1 回あたり，1 時間～1 時間半の授業外学習が前提です。
中間試験の成績が60%未満の人は，点数に応じた補習を受けることができます。決められた補習をきちんと行った人の中間試験成績は，60%に補正されます。

オフィスアワー

金曜日に松江キャンパス外国語教育センターワークステーションで行います。
教員タイムテーブル (<http://cfle.shimane-u.ac.jp/center/timetable.html>) を参照してください。

その他

外国語教育センターホームページ：<http://cfle.shimane-u.ac.jp/>
韓国・朝鮮語ホームページ：<http://cfle.shimane-u.ac.jp/korean/>

授業科目名	健康・スポーツ科学概論	担当教員	教授 大谷 浩 他		
開講年次及び学期	1年 後期	必修・選択の別	必修		
開講形態	医学科「健康科学概論」との合同講義	時間数	30	単位数	2
<p>授業概要</p> <p>医療人を志す者は、専門職としての専門的知識と技術を身につけるのは当然だが、さらに社会生活を営む中で、人間の諸機能を十分に発揮し得る心身の健康な状態を知り、かつ自ら健康な状態を保ちつつ市民を先導できることが望ましい。</p> <p>現代社会において、身体的、精神的に健康な生活を送るために必要な科学的な基礎知識を学習する。まず、「運動：動くこと」のヒトにおける意義とそれを支える身体の基本的な構造と機能を確認・理解し、その後にスポーツ医学及び身体運動学の基礎を学び、個人から集団に及ぶレベル、さらにヒト以外の動物・生物との関係における自他の健康に関する総括的な知識を学習する。</p>					
<p>G I O（一般目標）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 身体の基本的な構造と機能の理解に基づいて、健康と環境との関わり、健康増進のためのスポーツの利用、栄養学、ストレスコーピングなどを理解する。 2. 健康科学、環境医学を概論的に理解する。 3. スポーツにおける疾病や障害を学習し、心身に好影響を与える身体活動の効用を認識する。 					
<p>S B O（行動目標）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ヒトが「動く」ことの意義を理解し、自身の生活習慣を運動・栄養・休養面から考察し実践できる。 2. 健康の定義を理解し、地域の市民が高い生活の質を保ちうる条件を整えるのを先導・支援できるようになる。 3. 運動療法としての処方作成の基礎理論を説明できる。 					
<p>成績評価の方法</p> <p>各講義毎の出席状況とレポート等により判断する。</p>					
<p>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</p> <p>適宜紹介する。</p>					
<p>オフィスアワー</p> <p>適宜</p>					

授業計画

回	月 日	時 間	場所	授 業 内 容	担当
1	10.6(金)	8:30 ~ 10:00	L 3	「動物：運動するもの」としてのヒトの身体	大谷
2	10.13(金)	〃	〃	「運動する」身体のシステム 1：筋骨格系	大谷
3	10.20(金)	〃	〃	「運動する」身体のシステム 2：内臓系・神経系	大谷
4	10.27(金)	〃	〃	健康・スポーツと栄養	橋本
5	10.31(火)	〃	〃	(金曜授業振替日) なぜ運動が必要か？ - 効果的な運動方法 -	住吉
6	11.10(金)	〃	〃	運動習慣と運動の継続について - 最近の研究から -	住吉
7	11.17(金)	〃	〃	運動の生理学	小林
8	11.24(金)	〃	〃	スポーツと薬物	小林
9	12.1(金)	〃	〃	スポーツ障害とその予防	門脇
10	12.8(金)	〃	〃	集団からみた健康科学	神田
11	12.15(金)	〃	〃	社会と健康	神田
12	12.22(金)	〃	〃	タバコによる健康障害と禁煙指導	嘉数
13	1.5(金)	〃	〃	メンタルヘルス	江副
14	1.19(金)	〃	〃	One World, One Health ～ 獣医学から見た社会医学の役割～	田原
15	1.26(金)	〃	〃	総括	大谷

備 考

授業科目名	ス ポ ー ツ 実 習	担当教員	嘱託講師 木原 勇夫		
開講年次及び学期	1年 前期 (A・Bクラス)	必修・選択の別	必修		
開講形態	実習	時間数	30	単位数	1
<p>授業概要</p> <p>各種スポーツを中心とした諸々の身体活動を体育館および屋外運動場で実践する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体 育 館：ソフトバレーボール, インディアカ, バトミントン, 卓球, ストレッチング, 縄とび他 ・屋外運動場：ウォーキング, テニス, ソフトボール, サッカー他 					
<p>G I O (一般目標)</p> <p>各種のスポーツ実践を通して、運動と健康との関わりを理解するとともに、自ら健康関連体力を向上させることを目標とする。又、生涯にわたって適切な身体運動を継続させることにより、生活習慣病をはじめ身体機能低下の予防に役立てる方策を学ぶ。</p>					
<p>S B O (行動目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自らの健康関連体力を知る ・各種スポーツの基礎知識や基本技能を身につける ・安全にしかも楽しく実践することにより、心身に好影響を与えることの再認識 ・運動療法としての処方法を習得する 					
<p>成績評価の方法</p> <p>出席の状況および授業への取り組み方などを総合して評価する。</p>					
<p>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</p> <p>準備品</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ トレーニングウェア上・下 ・ トレーニングシューズ 屋内用・屋外用 					
<p>オフィスアワー</p> <p>適宜</p>					

授業科目名	情報科学概論	担当教員	教授 津本 周作 他		
開講年次及び学期	1年 前期	必修・選択の別	必修		
開講形態	講義	時間数	30	単位数	2
<p>授業概要</p> <p>コンピュータ及び基本的なソフトウェアの使用法について実習形式で学ぶ。さらに、EBN (実証に基づく看護学) の実践に重要な役割を果たす情報処理，データ解析（統計解析を含む）の基本的な手法について実習形式で学習する。</p>					
<p>G I O（一般目標）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コンピュータの操作方法を身につける。 2. ワープロ，表計算，プレゼンテーションソフトの使用法を習得する。 3. 基本的な統計解析の考え方を習得する。 4. 計算機による統計処理に必要な基本的技能を習得する。 					
<p>S B O（行動目標）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ワープロソフトを用いて，レポート作成を行える。 2. 表計算ソフトを用いて，データの整理・解析を行える。 3. プレゼンテーションソフトを用いて，スライドの作成を行える。 4. 表計算ソフトを用いて，基本統計，回帰分析を行える。 5. 表計算ソフトを用いて，基本的なパラメトリック検定，ノンパラメトリック検定を行える。 					
<p>成績評価の方法</p> <p>レポートおよび筆記試験</p>					
<p>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</p> <p>教材はプリントにて配布する。</p>					
<p>オフィスアワー</p> <p>随時</p>					

授業日程表

回	月日	曜日	時間	授 業 内 容	担当
1	4月10日	月曜日	16:15～ 17:45	オリエンテーション, 電子メールの使い方, 情報セキュリティ	平野
2	4月17日	"	"	ワープロソフト, プレゼンテーションソフトの使い方	平野
3	4月24日	"	"	表計算ソフトの使い方	平野
4	5月1日	"	"	統計解析入門・基本統計量	平野
5	5月8日	"	"	相関分析・回帰分析(1)	津本
6	5月15日	"	"	相関分析・回帰分析(2)	津本
7	5月22日	"	"	母集団と標本	平野
8	5月29日	"	"	母数の推定	平野
9	6月5日	"	"	母平均の検定	平野
10	6月12日	"	"	平均値の差の検定	平野
11	6月19日	"	"	その他のパラメトリック検定	平野
12	6月26日	"	"	2検定	平野
13	7月3日	"	"	まとめと演習(1)	全教員
14	7月10日	"	"	まとめと演習(2)	全教員
15	7月24日	"	"	演習問題の解説	全教員

備 考

担当教員 津本, 河村, 平野, 關
 講義場所 看護学科棟: 情報科学演習室
 テキスト 情報科学概論テキストを配布する

授業科目名	情報科学演習	担当教員	教授 津本 周作 他		
開講年次及び学期	1年 後期	必修・選択の別	必修		
開講形態	演習	時間数	30	単位数	1
<p>授業概要</p> <p>EBN（実証に基づく看護学）の実践に重要な役割を果たす情報処理，データ解析の手法を活用し，看護学研究に実践できる技能を習得する。</p>					
<p>G I O（一般目標）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基礎的な調査票調査の実施法を習得する。 2. 調査票データの基礎的な扱い方を習得する。 3. 調査票データの分析法を習得する。 4. 統計処理ソフトの使用方法を習得する。 5. コンピュータを用いて報告書を作成する能力を身につける。 					
<p>S B O（行動目標）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 的確な調査票を作成することができる。 2. 調査票のデータを正確に入力し，分析に必要な前処理を行なうことができる。 3. データの基礎的な集計を表計算ソフトで行える。 4. 統計処理ソフトを用いて，統計学的検定を行える。 5. 解析結果をまとめ，コンピュータを用いて報告書が作成できる。 					
<p>成績評価の方法</p> <p>レポート及び課題</p>					
<p>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</p> <p>教材はプリントにて配布する。</p>					
<p>オフィスアワー</p> <p>随時</p>					

授業日程表

回	月日	曜日	時間	授 業 内 容	担当
1	10月2日	月曜日	16:15～ 17:45	オリエンテーション / 質問紙調査法概論	平野
2	10月11日	水曜日	〃	調査票の通読	平野
3	10月16日	月曜日	〃	質問項目案の作成	平野
4	10月23日	〃	〃	予備調査の実施	關
5	10月30日	〃	〃	本調査の実施, データ入力	關
6	11月6日	〃	〃	回答のチェック / 基本的な集計	關
7	11月13日	〃	〃	統計解析ソフトの使い方とデータの前処理	關
8	11月20日	〃	〃	データ分析 (1)	關
9	11月27日	〃	〃	データ分析 (2)	關
10	12月4日	〃	〃	データ分析 (3)	關
11	12月11日	〃	〃	図表の作成 (1)	關
12	12月18日	〃	〃	図表の作成 (2)	關
13	1月15日	〃	〃	レポート作成 (1)	全教員
14	1月22日	〃	〃	レポート作成 (2)	全教員
15	1月29日	〃	〃	課題回答	全教員

備 考

担当教員 津本, 河村, 平野, 關
 講義場所 看護学科棟: 情報科学演習室
 テキスト 情報科学演習テキストを配布する

教養育成科目

(出雲キャンパス開講科目)

授業科目名	人間行動論	担当教員	法文学部准教授 田中 一馬		
開講年次及び学期	1年 前期	必修・選択の別	選択		
開講形態	講義	時間数	30	単位数	2
<p>授業概要</p> <p>欧米における倫理学の諸理論を概観します。</p> <p>わたしたちは、社会生活を営む者としてすでに何らかの倫理観を持ち合わせ、それに基づいて生きています。自分が関わりを持つ人々の間で倫理観にさほどの違いがなければ、自分の倫理観について改めて反省する機会はないかもしれません。しかし、実際は多かれ少なかれ、倫理観の相違を意識する場合があります。</p> <p>また、これまで自分が直面したことのないような状態に身を置くと、持ち合わせている倫理観に基づくだけでは対応しきれないことがあるかもしれません。倫理学は一つには、これらの場合に適切な行動の指針を提供することを目的としています。</p> <p>しかし、倫理学上の諸見解は、それぞれ一定の前提に立脚しつつその主張を構築しており、無条件の正しさを持つわけではありません。個別の見解が前提している事柄は何か、そしてそこから一つの見解がどのような論理によって構築されているのか、などを客観的に理解することもまた、倫理学の目的の一つなのです。</p> <p>授業では、倫理学が有するこれら二つの目的に十分留意しながら、受講する人が自ら倫理的思考を展開してもらえよう、話題を提示しようと考えています。</p>					
<p>G I O (一般目標)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 欧米における倫理学の全体像（とりわけその論理構造や主張）を理解する。 2. 倫理的な正しさやよさについて、自ら多面的に考える力を身につける。 					
<p>S B O (行動目標)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 倫理学を構成するさまざまな立場の区分について、説明することができる。 2. 倫理学を構成するさまざまな立場が拠って立つ前提について、説明することができる。 3. 倫理学を構成するさまざまな立場の特徴について、説明することができる。 4. 学んだ倫理的な見地をもとに、自分自身の倫理観を批判的に分析することができる。 5. 倫理的な見地から検討を要すると思われる具体的な問題について、考察することができる。 					
<p>成績評価の方法</p> <p>期末に試験を実施します。</p> <p>授業時に発言を求めることがあります。自発的な発言は極めて高く評価します。</p> <p>その他成績評価の詳細については、第1回目の授業で説明します。</p>					
<p>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</p> <p>教科書 特に指定しません。プリントを適宜配付します。</p> <p>伊勢田哲治『動物からの倫理学入門』名古屋大学出版会、2008年、2940円</p> <p>その他、授業中に適宜紹介します。</p>					
<p>オフィスアワー</p> <p>毎週火曜日の授業直後でしたら、教室で時間が取れます。また（オフィスアワー本来の趣旨からは外れますが）、前もって申し込んでいただけるようでしたら、毎週金曜日のお互い都合がつく時間帯に、松江キャンパス（私の研究室など）でお会いします。</p> <p>授業に対するご質問などは、メールでお寄せ下さい。</p> <p>kazuma@soc.shimane-u.ac.jp までどうぞ。</p>					

授業計画

回	月 日	時 間	場所	テーマ	授 業 内 容
1	4.11(火)	10:15～ 11:45	L 3	はじめに	倫理についての大まかな把握 / 授業の進め方について
2	4.18(火)	"	"	メタ倫理学(1)	相対主義：倫理に絶対の正しさはないのか？
3	4.25(火)	"	"	メタ倫理学(2)	指令主義：「よしあし」と「好き嫌い」はどう違うか？
4	5.9(火)	"	"	メタ倫理学(3)	ヒュームの法則：「である」から「べし」は導けるか？
5	5.16(火)	"	"	規範倫理学(1)	功利主義(その1)：基本的な考え方と種類
6	5.23(火)	"	"	規範倫理学(2)	功利主義(その2)：功利主義への批判
7	5.30(火)	"	"	規範倫理学(3)	功利主義(その3)：批判への対応
8	6.6(火)	"	"	規範倫理学(4)	義務論：基本的な考え方・種類・寄せられる批判
9	6.13(火)	"	"	規範倫理学(5)	徳倫理学：基本的な考え方・種類・寄せられる批判
10	6.20(火)	"	"	規範倫理学(6)	正義論(その1)：契約説の基本的な考え方
11	6.27(火)	"	"	規範倫理学(7)	正義論(その2)：現代の正義論
12	7.4(火)	"	"	応用倫理学(1)	インフォームド・コンセントはなぜ必要か？
13	7.11(火)	"	"	応用倫理学(2)	優生思想をめぐって
14	7.18(火)	"	"	応用倫理学(3)	私たちは動物を差別的に取り扱っているのか？
15	7.25(火)	"	"	おわりに	倫理的に考えるということ / 期末試験について

備 考

毎回の授業内容は、現時点(3/15)での予定です。変更がある場合は、改めてお知らせします。

授業科目名	細胞生物学	担当教員	准教授 竹永 啓三, 助教 秋元 美穂		
開講年次及び学期	1年 前期	必修・選択の別	必修		
開講形態	講義	時間数	30	単位数	2
<p>授業概要</p> <p>細胞の構成成分, 細胞内小器官・細胞の構造と機能, 代謝の仕組み, 細胞分裂・分化・老化・死といった生命現象の基本を解説する。</p>					
<p>達成目標 (達成度)</p> <p>G I O (一般目標)</p> <p>細胞における生命現象の基本と動物の組織・器官を学び, ヒトを理解する基礎を築く。</p> <p>S B O (行動目標)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 細胞の構造, 細胞構成成分, 細胞内小器官の働きを説明できる。 2. 遺伝子の複製, 転写, 翻訳の分子レベルでの仕組みについて説明できる。 3. 細胞の増殖, 分化, 老化, 死について説明できる。 4. 細胞が集団を形成し組織をつくる仕組みと動物の器官の働きを説明できる。 5. 神経系と神経伝達物質を説明できる。 6. 免疫の仕組みを説明できる。 7. がんとがん細胞について理解する。 <p>授業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生物学史 2. 細胞膜・細胞内小器官の構造と機能 3. 生体を構成する物質 4. 細胞呼吸とエネルギー産生 5. 遺伝とDNA 6. 遺伝情報の発現 7. タンパク質の構造と機能 8. 細胞周期と体細胞分裂 9. 細胞分化・老化・死 10. 減数分裂と生殖・発生 11. 動物の組織 12. 動物の器官 13. 神経系と神経間伝達 14. 免疫 15. がん細胞の発生の仕組みと特徴 16. 定期試験 					
<p>授業の進め方</p> <p>液晶プロジェクターで資料を提示し, 時として板書しながら進める。</p>					
<p>授業キーワード</p> <p>細胞, 遺伝子, 細胞分裂, 細胞分化, 細胞死, 組織, 器官, がん</p>					
<p>成績評価の方法</p> <p>期末テストおよび授業への取り組み (予習, 復習, 出席等) で評価する。 5回以上欠席した場合には未修とする。</p>					
<p>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</p> <p>教科書 田村隆明著 医療・看護系のための生物学 (改訂版) 裳華房 参考書 中村桂子, 松原謙一監訳 エッセンシャル細胞生物学第3版 南江堂 和田 勝著「基礎から学ぶ生物学・細胞生物学」羊土社 プリントを適宜配布する。</p>					
<p>オフィスアワー</p> <p>月～金の講義時間を除いた時間帯。准教授室 (医学部講義棟 3F)。</p>					

授業科目名	生物有機化学	担当教員	特任教授 吉田 正人 他		
開講年次及び学期	1年 前期	必修・選択の別	選択		
開講形態	講義	時間数	30	単位数	2
<p>授業概要</p> <p>有機化学の入門コースである。有機化学は命あるものの産物として出発したが、その後、多くの有機化合物が人工的に合成できるようになり、有機化学は炭素化合物の化学へと変革してきた。現在までに、約2,000万にもおよぶ種類の物質の存在が確認されているが、そのうちの90%近くが、構成元素として炭素を含んでおり、これら膨大な数の炭素化合物を扱う化学が有機化学である。この授業では、「有機化学は炭素化合物の化学である」という考え方を基に、有機化合物の最も基本となる炭化水素の基本骨格の成り立ちや性質を先ず講義する。さらに、官能基の性質や反応を基本にして、糖質、脂質、タンパク質などの生体構成物質が簡単な有機分子からどのように組み立てられているかを解説する。日常生活や現代社会に密接した話題を随所に取り上げる予定である。</p>					
<p>達成目標（達成度）</p> <p>G I O（一般目標）</p> <p>有機化学は私達の生活に密接なかわりをもっている。人のからだは主に有機化合物によって作られており、現代社会は合成化合物質の中にどっぷりつかっている。この授業では有機化学の基本を修得することにより生命現象や生体における機能を分子レベルで理解する素地をつくることを目的とする。</p> <p>S B O（行動目標）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 分子の形を3次元構造として正しく書ける。 2) 有機化合物の反応を電子の動きで説明することができる。 3) 結合の分極、共鳴、芳香属性などの概念を使って基本的な有機化合物や生命にとって重要な有機化合物の物性や反応性を説明したり予想したりすることができる。 					
<p>授業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 物質のなりたち：生命現象の化学 2. 分子の形成：原子と分子，化学結合，分子の形 3. 生体を構成する分子（1） 4. 生体を構成する分子（2） 5. 反応の基礎：酸・塩基反応を例として 6. 糖類（1）：カルボニル化合物とアルコールの性質 7. 糖類（2）：糖の形（アルカンとシクロアルカン，鏡像異性体） 8. 糖類（3）：糖の反応（付加反応と置換反応） 9. 糖類（4）：単糖と多糖 10. 脂質（1）：カルボン酸の反応 11. 脂質（2）：中性脂肪とりん脂質 12. 脂質（3）：コレステロール 13. アミノ酸：カルボン酸とアミン（アミノ酸の反応） 14. アミノ酸とタンパク質：アミノ酸からタンパク質へ（タンパク質の機能） 15. 核酸：DNAの成り立ち 16. 期末試験 					
<p>テキスト</p> <p>必要に応じて資料を配布する。</p>					
<p>参考文献</p> <p>赤路健一，福田常彦「生命系の基礎有機化学」（化学同人） その他，図書館に備えてある参考図書を適宜紹介する。</p>					
<p>成績評価の方法</p> <p>期末テスト</p>					
<p>オフィスアワー</p> <p>通常は講義時間の前後1時間，吉田の居室（講義棟3階）にて。 試験前は特別に設けますので，別途通知します。</p>					

授業科目名	統計学入門	担当教員	特任教授 小林 裕太		
開講年次及び学期	1年 前期	必修・選択の別	選択		
開講形態	講義	時間数	30	単位数	2
<p>授業概要</p> <p>ある疾病の原因として喫煙が関連しているかどうか、関連しているとしたらどれくらい寄与しているのかなど、健康や疾病にかかわる多くの現象は、数値化することによって客観的に理解することができ、その影響を科学的に推定することが可能となる。統計学的手法は、根拠に基づいた看護を提供する上で必須である。死亡原因のような健康指標・保健指標も統計の基礎知識の上に成り立つものであり、そのようなデータが保健行政を進める基礎となっている。統計学は公衆衛生看護の基本であり、保健師国家試験でも重視が提言されている。本講では看護師、保健師を目指す人を主対象に、看護研究や公衆衛生看護の基礎となる統計学を学ぶ。アンケート調査などの統計処理についての基礎についても述べるので、看護学科以外の学生も受講できるものとする。</p> <p>この講義は、数学の講義であるが、具体例に沿って、統計の考え方ならびに健康に関連するデータの統計処理の方法を理解する事に重点をおく。</p> <p>並行して開講される看護学の基礎教育科目である情報科学概論と関連付けながら、基礎的な統計の知識を得ることを目指す。パソコンの発達で、計算そのものはパソコンを用いて行うことができるので、重要なことはどのようなデータにどのような統計をあてはめるべきかを判断できることであり、その判断力を養うことを目標とする。情報科学概論を履修しない学生については、エクセルなどの数表を用いた統計処理の技術について自習されたい。</p>					
<p>G I O (一般目標)</p> <p>統計の考え方ならびに統計処理の方法を理解し、保健行政や根拠に基づいた看護を提供する上で実際的に応用できる力を養う。</p>					
<p>S B O (行動目標)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 統計の考え方について必要な事項を説明できる。 2. 統計処理の方法について重要な事項を説明できる。 3. 健康や看護にかかわるデータを統計処理する場合に適用すべき統計の方法を判断できる。 4. 平均、分散、健康に係わる事象の有意差検定など基礎的な統計処理を行うことができる。 					
<p>成績評価の方法</p> <p>ミニテスト、レポートおよび筆記試験により評価する。詳しくは備考参照</p>					
<p>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</p> <p>教科書：「系統看護学講座，基礎4，統計学」 医学書院</p>					

授業計画

回	月 日	時間	教室	テーマ	授 業 内 容	備考
1	4月11日 (火)	16:15 ~ 17:45	N11	統計学を学ぶ にあたって	統計学とは何か、根拠に基づく看護を展開する上での意義、健康科学や健康指標で扱われる統計データについて学ぶ。	8 ~ 30
2	4月18日 (火)	"	"	統計データの まとめ方	統計データのまとめ方、分布表作りを学ぶ。	32 ~ 39
3	4月25日 (火)	"	"	統計データの 図示	統計データの図示の仕方を学ぶ。	40 ~ 47
4	5月9日 (火)	"	"	平均値、代表値、 データの分布	平均値、代表値、データの分布について学ぶ。	47 ~ 53
5	5月11日 (木)	"	"	確率分布	確率について学ぶ。検査値による疾病の定義	56 ~ 74
6	5月16日 (火)	"	"	推定	推定の考え方を学ぶ。正しい推定の基礎としての無作為抽出について理解する。	74 ~ 82
7	5月23日 (火)	"	"	関連の指標	医療統計の概念、オッズ比など関連の指標について学ぶ。	
8	5月30日 (火)	"	"	2群の比較 1	検定と帰無仮説、2つの標本の比較について学ぶ。	84 ~ 94
9	6月1日 (木)	"	"	2群の比較 2	いろいろな場合の、2つの標本の比較について学ぶ。	94 ~ 108
10	6月13日 (火)	"	"	離散変数デー タの比較	離散的データであるアンケートなどの結果の比較の方法を学ぶ。	108 ~ 116
11	6月20日 (火)	"	"	関連	関連の推定の方法を学ぶ。	118 ~ 126
12	6月22日 (木)	"	"	順位相関	環境要因と健康事象の間の関係を調べる時など離散的データに用いられる順位相関について学ぶ。順位変数での多試料の比較について学ぶ。	126 ~ 130
13	6月27日 (火)	"	"	統計の実際と 推論の進め方	統計の実際と推論の進め方を学ぶ。	
14	6月29日 (木)	"	"	多試料の比較	多試料の解析法について学ぶ。	
15	7月4日 (火)	"	"	多変量解析	多変量解析について学ぶ	
16	7月11日 (火)	"	"	まとめ	First Trial	

備 考

教科書：「系統看護学講座，基礎分野 統計学」 医学書院の対応ページを備考に示した。第二部については興味があれば自学してください。

5/2 は水曜振替

6/6 は学会で休講です。補講を5/11にします。

スケジュールの都合で、6/1、6/22、6/29に補講をします。7/18、7/25は休講です。

成績評価：First Trialでは毎回のミニテストとレポートで全部で30%，筆記試験を70%として評価します。本試験はFirst Trial 50%，筆記試験50%とします。再試験は筆記試験のみで評価します。

欠席はFirst trialの際に1回につき2点減点とします。

授業科目名	長寿社会の健康なくらし	担当教員	教授 谷口 栄作 他		
開講年次及び学期	1年 後期	必修・選択の別	選択		
開講形態	講義	時間数	30	単位数	2
<p>授業概要</p> <p>この科目は、島根県が直面している長寿社会における健康とくらしの関わりを医学部の専門分野の教員がオムニバス形式で授業を行います。内容は受講する学生の皆さんだけでなく、身近にいる方々にも深く関係するものです。</p> <p>授業は講義形式で原則出雲キャンパスで行いますが、松江キャンパスにも遠隔配信します。また、授業では医学的な画像が用いられることがあります。</p> <p>この科目は地域の理解を深めるベースストーン科目に指定されています。</p>					
<p>G I O (一般目標)</p> <p>島根県が直面している長寿社会において、健康と暮らしの関わりを保健医療的な知見から学習することを目的とする。</p>					
<p>S B O (行動目標)</p> <p>高齢者を取り巻く健康や医療的な特徴を学び、高齢者の健康と暮らしの関連が理解できる。</p>					
<p>成績評価の方法</p> <p>各講義の終わりに小テストあるいは小レポートを課し、出席状況、受講態度、小テスト、小レポート等で総合的に評価する。欠席6回以上の場合には未修とします。</p> <p>毎回教員と内容が変わりますので、欠席しないように努力してください。</p>					
<p>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</p> <p>教科書 テキストは特に使いません。必要な資料は適宜配布します。</p> <p>参考図書 必要に応じて各教員が授業の時に紹介いたします。</p> <p>その他の授業資料等 必要な資料は、授業の時に配布いたします。</p>					
<p>オフィスアワー</p> <p>各教員にお尋ねください。</p>					

授業日程表

回	月日	時間	場所	授 業 内 容	担当
1	10.13(金)	14:30 ~ 16:00	L3	お口の病気の見つけ方	関根
2	10.20(金)	"	"	法医学から考える長寿社会の健康な暮らし	竹下
3	10.27(金)	"	"	老化の生物学	小林
4	10.31(火)	"	"	更年期からの輝き	京
5	11.10(金)	"	"	長寿社会における地域医療	谷口
6	11.17(金)	"	"	健康で長生きするために必要な免疫力	原田
7	11.24(金)	"	"	感染症から身を守る	吉山
8	12.1(金)	"	"	ニュージーランドにおける暮らしと健康	岩田
9	12.8(金)	"	"	漢方医学の健康観	長井
10	12.15(金)	"	"	健康長寿のための「肺」の話	磯部
11	12.22(金)	"	"	血液循環と脳の病変	安井
12	1.5(金)	"	"	老化と認知症	山口
13	1.19(金)	"	"	中・高齢者の感染症	廣瀬
14	1.26(金)	"	"	長寿社会実現のための再生医療	松崎
15	2.2(金)	"	"	健康なくらしと社会	神田

備 考

原則出雲キャンパスで講義を行い、松江キャンパスに遠隔配信します。なお、「お口の病気の見つけ方」については遠隔配信は行わず、松江キャンパス(10/6)、出雲キャンパス(10/13)それぞれに対面での講義を行います。

受講定員：100名

專 門 教 育 科 目

專 門 基 礎 科 目

授業科目名	人 間 心 理	担当教員	教授 堀口 淳 他		
開講年次及び学期	1 年 前期	必修・選択の別	必修		
開 講 形 態	講義(医学科・看護学科合同)	時間数	30	単位数	2
<p>授業概要</p> <p>心理学は「こころ」の学問といわれますが、この授業では「こころ」の科学としての心理学を紹介します。人の関わるところすべてが心理学の対象となりますが、ここでは特に後期に触れられない分野に関して述べます。サブテーマは授業日程表に示します。授業では医学の中の心理学を中心に、神経生理学的関連にも触れます。</p>					
<p>G I O (一般目標)</p> <p>心理学は、人間の行動の背景には「こころ」が存在すると仮定し、客観的な手法を用いて、行動と心理の関係について科学的な説明を試みるものです。日常的な人間の行動や生活、社会の特徴について、経験的、直感的に解釈するのではなく、心理学的な観点から、分析・考察できるようになるための基本的な知識を学びます。そのために以下の目標を掲げます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心身の相互関係を心理学的事実とその神経生理学的基盤との関係として把握していきます。 ・感覚・知覚に関する基礎的知識を身につけます。人が外界を認識するのはどのようなことなのかを理解します。 ・意識とそれに関連する事象について理解します。 ・記憶や忘却のメカニズムについて理解します。 ・学習に関する基礎的知識を身につけます。人間の行動パターンを変えるにはどのようにプログラムを考えればよいのかについて理解します。 ・動機付けやそれと仕事との関連を通して、また感情を通して人間性の豊かさとその神経生理学的関連を理解します。 ・ストレスおよび健康を理解し、それらの関係についても考察します。 					
<p>S B O (行動目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行動と脳内情報伝達物質との関連を概説できるようになります。 ・行動と知覚、学習、記憶、認知、言語、思考、性格との関係を概説できるようになります。 ・本能行動と学習行動(適応的な学習、適応でない学習)を説明できるようになります。 ・レスポンド条件づけ(事象と事象との関係の学習)とオペラント条件づけ(反応と結果との関係の学習)を説明できるようになります。 ・社会的学習(モデリング、観察学習、模倣学習)を概説できるようになります。 ・生理的動機(個体保存、種族保存)、内発的動機(活動、感性、好奇、操作など)、および社会的動機(達成、親和、愛着、支配など)を概説できるようになります。 ・動機づけを例示できるようになります。 ・欲求とフラストレーション・葛藤との関連を概説できるようになります。 					
<p>成績評価の方法</p> <p>出席点・レポート・小テストおよび期末テストで評価します。</p>					
<p>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</p> <p>教科書 「心理学」第4版 鹿取廣人、杉本敏夫、鳥居修晃 編</p> <p>参考書 P.G.ジンバルドー(著) 古畑和孝・平井 久(監訳)「現代心理学・・・」サイエンス社 無藤 隆・久保ゆかり・遠藤利彦(著)「発達心理学」岩波書店 Michael S. Gazzaniga The Cognitive Neurosciences 5th ed. A Bradford Book</p>					
<p>オフィスアワー</p> <p>メール (maiko-s@med.shimane-u.ac.jp) で問い合わせてください。</p>					

授業計画

回	月 日	時 間	場所	授 業 内 容	担当
1	4.12(水)	8:30～10:00	L 3	心理学概論	堀口
2	4.19(水)	〃	〃	心理学における精神医学	堀口
3	4.26(水)	〃	〃	神経科学と行動	宮岡
4	5.2(火)	〃	〃	身体疾患の心理学	三浦
5	5.10(水)	〃	〃	神経科学と行動	橋岡
6	5.17(水)	〃	〃	ライフサイクルの心理学	和氣
7	5.24(水)	〃	〃	児童心理学	和氣
8	5.31(水)	〃	〃	健康心理学	林田
9	6.7(水)	〃	〃	依存の心理学	大拙
10	6.14(水)	〃	〃	老年心理学	長濱
11	6.21(水)	〃	〃	緩和ケアの心理学	岡崎
12	6.28(水)	〃	〃	認知行動療法	山下
13	7.5(水)	〃	〃	学生生活の心理学	江副
14	7.12(水)	〃	〃	臨床心理学	和田
15	7.19(水)	〃	〃	臨床心理学	和田

備 考

授業科目名	人 間 心 理	担当教員	教授 堀口 淳 他		
開講年次及び学期	1 年 後期	必修・選択の別	選択		
開 講 形 態	講義(医学科・看護学科合同)	時間数	30	単位数	2
<p>授業概要</p> <p>臨床心理学の機能や臨床領域，今日の日本社会における役割や課題について学びます。基礎的な部分については，カウンセリング論や心理問題の分類，発達臨床について習得する。応用的な部分については，様々な患者さんの心理や障害児の療育，女性や児童・思春期特有の心理的問題について学び，演習などを通して習得します。</p>					
<p>G I O（一般目標）</p> <p>臨床心理学の基礎と応用を学び，臨床心理的な理解と支援の流れについて理解します。その上で，次のような点を目標とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語の性質や思考を心理学的観点から理解します。 ・心理学的概念としての知能を把握し，知能を通じて心理測定の基礎を理解します。 ・心理的発達に関する基礎的知識を身につけます。 ・人格の心理学的概念を把握します。人格の特性を理解します。パーソナリティを通して，心理測定の基礎を理解します。 					
<p>S B O（行動目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行動と人の内的要因，社会・文化的環境との関係を概説できるようになります。 ・知能の発達と経年変化を概説できるようになります。 ・こころの発達の原理を概説できるようになります。 ・ライフサイクルの各段階におけるこころの発達の特徴を概説できるようになります。 ・こころの発達にかかわる遺伝的要因と環境的要因を概説できるようになります。 ・性格の類型を概説できるようになります。 ・人間の対人関係や集団行動を社会心理学的な枠組みで説明できるようになります。 ・ストレスと健康，および両者の関係について概説できるようになります。 ・適応（防衛）機制を概説できるようになります。 					
<p>成績評価の方法</p> <p>出席点・レポート・小テスト，期末テストで評価します。</p>					
<p>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</p> <p>教科書</p> <p>「カウンセリングの実際問題」河合隼雄著 金剛出版</p> <p>「臨床心理学ノート」河合隼雄著 金剛出版</p> <p>「臨床心理学」倉光 修著 岩波書店</p>					
<p>オフィスアワー</p> <p>メール (maiko-s@med.shimane-u.ac.jp) で問い合わせてください。</p>					

授業計画

回	月 日	時 間	場所	授 業 内 容	担当
1	10.4(水)	14:30 ~ 16:00	L 3	臨床における心理学論考	和田
2	10.5(木)	"	"	臨床における心理学論考	和田
3	10.18(水)	"	"	臨床における心理学論考	和田
4	10.19(木)	"	"	臨床における心理学論考	和田
5	10.25(水)	"	"	臨床における心理学論考	和田
6	10.26(木)	"	"	思春期から更年期	和氣
7	11.1(水)	"	"	臨床における心理学論考	和田
8	11.2(木)	"	"	心理発達検査	高野
9	11.8(水)	"	"	心理アセスメントと心理療法	和田
10	11.9(木)	"	"	児童思春期の心理的、精神医学的問題	稲垣
11	11.15(水)	"	"	心理アセスメントと心理療法	和田
12	11.16(木)	"	"	思春期外来における子供たちへの支援と対応	稲垣
13	11.22(水)	"	"	事例で学ぶ人間心理	和田
14	11.29(水)	"	"	事例で学ぶ人間心理	和田
15	11.30(木)	"	"	心理発達検査	高野

備 考

授業科目名	感 染 と 免 疫	担当教員	特任教授 小林 裕太 他		
開講年次及び学期	1年 後期	必修・選択の別	必修		
開講形態	講義	時間数	30	単位数	2
<p>授業概要</p> <p>種々の病原微生物に関する生物学的知識と，生体側の感染防御機構である免疫の仕組みの基本を学び，個々の病原体や免疫系の異常によって起こる各種疾患の成り立ち，病態生理，治療，回復の促進，予防法について学ぶ。</p>					
<p>G I O（一般目標）</p> <p>病原微生物と免疫の仕組みの基本を知り，各種感染症や免疫疾患について学ぶ。人間や健康を総合的にとらえ，身体状態をアセスメントし，根拠に基づいた看護を提供するために看護実践上必要な基礎的知識や，地域住民に健康情報を提供できる知識を習得する。</p>					
<p>S B O（行動目標）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 各種病原微生物の生物学的特質と抗菌剤の作用機序について説明できる。 2. 病原微生物による感染症の診断，予防の概要を説明できる。 3. 特異的生体防御機構としての免疫系について概説できる。 4. 特殊な感染症（日和見感染，院内感染，薬剤耐性菌）について理解できる。 5. 病棟における感染予防について説明できる。 					
<p>成績評価の方法</p> <p>ミニテスト，レポートおよび筆記試験により行う。</p>					
<p>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</p> <p>教科書：系統看護学講座「疾病のなりたちと回復の促進 微生物学」，医学書院</p>					

授業計画

回	月 日	時間	教室	テ - マ	授 業 内 容	担当
1	10月4日 (水)	16:15 ~ 17:45	N21	感染と免疫概論	感染と免疫について概略を学ぶ。	小林
2	10月5日 (木)	12:45 ~ 14:15	"	免疫学 1	免疫担当細胞, 体液性免疫, 細胞性免疫, 免疫応答の調節機構, 免疫不全状態について学ぶ。	原田
3	10月19日 (木)	"	"	免疫学 2		原田
4	10月26日 (木)	"	"	免疫学 3		原田
5	11月2日 (木)	"	"	免疫系と免疫関連疾患	アレルギー性疾患と自己免疫疾患について学ぶ。	小林
6	11月9日 (木)	"	"	細菌学総論	微生物の成り立ち, 各種病原微生物の生物学的特性について学ぶ。	吉山
7	11月15日 (水)	"	N11	ウイルス学総論	ウイルスの成り立ち, 生物学的特性について学ぶ	吉山
8	11月30日 (木)	"	N21	真菌と原虫・看護職と感染制御	真菌と原虫の生物学的特性, 感染制御における看護職の役割について学ぶ。	小林
9	12月7日 (木)	"	"	感染症の徴候と症状・滅菌と消毒	感染症の徴候と症状と感染経路・予防法・滅菌と消毒について学ぶ。	小林
10	12月14日 (木)	"	"	院内感染予防	院内感染予防について学ぶ。	宮本
11	12月21日 (木)	"	"	感染症の検査と診断・感染症の治療	・感染症の検査と診断, 治療法について学ぶ	小林
12	1月4日 (木)	"	"	細菌感染症 1	個々の細菌によって惹起される感染症の症状, 診断, 治療, 予防法について学ぶ。	小林
13	1月11日 (木)	"	"	細菌感染症 2		小林
14	1月18日 (木)	"	"	真菌・原虫感染症, ウイルス感染症 1	真菌・原虫感染症, 個々の病原ウイルスによって惹起される感染症の症状, 診断, 治療, 予防法について学ぶ。	小林
15	1月18日 (木)	14:30 ~ 16:00	"	ウイルス感染症 2	個々の病原ウイルスによって惹起される感染症の症状, 診断, 治療, 予防法について学ぶ。	小林
16	1月25日 (木)	12:45 ~ 14:15	"	まとめ	First Trial	小林

備 考

11/15は講師の方の都合で環境保健学(11/16)と入れ替えです。

進行の都合で10/4, 1/18に補講をします。

成績評価: First Trialでは毎回のミニテストとレポートで全部で30%, 筆記試験を70%として評価します。本試験はFirst Trial 50%, 筆記試験50%,とします。再試験は筆記試験のみで評価します。

欠席はFirst Trialで1回につき2点減点とします。

授業科目名	生命科学の歴史と倫理	担当教員	医学部長 山口 修平 他		
開講年次及び学期	1年 前期	必修・選択の別	必修		
開講形態	医学科「医学概論」との合同講義	時間数	30	単位数	2
<p>授業概要</p> <p>この科目では、将来医師あるいは看護職になるにあたって基本となる、医療人としての倫理観とプロフェッショナリズムについて学習する。医療や医療従事者に対する社会からの信頼度を高めるためには、個々の医療者の能力に加え、患者の利益を最優先する意志とそれに向けた努力が重要である。そのために医療者には様々な責務があることを認識する必要がある。専門職としての能力を持つこと、患者に対して正直であること、患者の秘密を守ること、患者との適切な関係を保持すること、医療の質を向上させること、科学的知識を正しく使用すること、利害の衝突に対処し信頼を維持することなどが医療者の責務としてあげられている。本講座ではこれらの具体的内容を、医学の歴史、遺伝子解析、精神医療、がん医療、移植医療、認知症医療、生殖医療あるいは医療安全など様々な側面から学習する。</p>					
<p>G I O（一般目標）</p> <p>医師・看護職になるための専門的な学習を始めるにあたって、学習者としての基本的な姿勢や態度・心構えと社会における医療のあるべき姿を習得する。</p>					
<p>S B O（行動目標）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療人にあるために求められる態度と心構えを説明できる。 2. 生命の尊厳、生と死の間に横たわる倫理的問題を説明できる。 3. 生命科学と医学の歴史について説明できる。 4. 日本の医療システムの基本と問題点について説明できる。 5. 臓器移植、体外受精、遺伝子解析などに伴う生命倫理の問題につき説明できる。 6. 認知症患者やがん患者の基本的心理的サポートについて説明できる。 7. 医療従事者のメンタルヘルスの重要性について説明できる。 8. 医療の安全管理と事故防止対策の基本的な考え方を説明できる。 9. 医療技術の開発の重要性について説明できる。 					
<p>成績評価の方法</p> <p>出席とレポートで評価する。</p>					
<p>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 井内康輝 医学概論 - 医学生が学ぶべき生命・医療倫理と医学史 2013 2. 梶田昭 医学の歴史 2003 3. L.コーン/J.コリガン/M.ドナルドソン編, 米国医療の質委員会/医学研究所著 人は誰でも間違える・より安全な医療を目指して 日本評論社 2000 4. 島根大学附属図書館医学分館大森文庫出版編集委員会編 華岡流医術の世界 2008 					

授業日程表

回	月 日	時 間	場 所	授 業 内 容	担 当
1	4.12(水)	12:45 ~ 14:15	L 3	生命科学の歴史と医の倫理	大谷
2	4.19(水)	〃	〃	日本の医療システム	廣瀬
3	4.26(水)	〃	〃	臨床医学の歴史と医の倫理	山口
4	5.10(水)	〃	〃	東洋医学と西洋医学の融合	下手*
5	5.24(水)	〃	〃	精神医学における人権と法律	堀口
6	5.31(水)	〃	〃	ヒトゲノム解析と生命倫理	並河
7	6.7(水)	〃	〃	患者の思いと認知症医療・ケア	高橋*
8	6.14(水)	〃	〃	子どもと病気～子どもからのメッセージ	竹谷
9	6.21(水)	〃	〃	がんと緩和ケア	中谷
10	6.28(水)	〃	〃	移植医療における倫理的課題	有地・川本
11	7.5(水)	〃	〃	島根と華岡青洲	梶谷*
12	7.12(水)	〃	〃	医療者のメンタルヘルスマネジメント	江副
13	7.19(水)	〃	〃	生殖医療における倫理的課題	京
14	7.26(水)	〃	〃	医理工連携による島根大学発の革新的な医療技術	中村
15	8.2(水)	〃	〃	医療事故と医療者の責務	内田

備 考

*印：嘱託講師

授業科目名	形態と機能	担当教員	教授 橋本 龍樹 他		
開講年次及び学期	1年 通年	必修・選択の別	必修		
開講形態	講義及び演習	時間数	60	単位数	2
<p>授業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒトの構造と機能を関連づけて学習する。 ・細胞，組織学，筋骨格器系，消化器系，循環器系，呼吸器系，泌尿器系，内分泌系について解剖学及び生理学について学習する。 ・指定した教科書，プリント，模型等を用いて授業を行い，人体の立体的な構造について説明する。 ・後期には人体解剖学実習を行い，実際にご遺体に接する機会であり，解剖学の知識だけではなく，命の尊厳について学習します。 					
<p>G I O（一般目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護師になったとき，患者様の訴えを正しく理解し，病気の本質を見極めるために必要な知識を習得する事を目標とする。 ・看護学を学習するために必要な基礎知識を習得し，アセスメントや看護援助の基礎を確立することを目標とする。 					
<p>S B O（行動目標）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人体の正常な構造と名称，形態，立体的な位置関係が説明できる。 2. 各器官系の機能や生態における役割が説明できる。 3. 生命誕生から成人を経て高齢者となるライフステージにおける人体の変化が説明できる。 4. 解剖学実習を通じて生命の尊厳について理解できる。 					
<p>成績評価の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席状況及び筆記試験により判定する。 					
<p>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</p> <p>教科書：「系統解剖学講座 専門基礎1 解剖生理学」医学書院</p> <p>参考図書：「カラー人体解剖学，構造と機能：ミクロからマクロまで」井上貴央監訳 西村書店 「現代の解剖学 改定新版」山田安正著 金原出版 「人体解剖学」改訂42版 藤田恒太郎 南江堂 「からだの構造と機能」三木明德・井上貴央監訳 西村書店</p>					

授業日程表

回	月 日	時 間	テ ー マ ・ 授 業 内 容	担当
1	4月6日	14:30～16:00	解剖生理学の基礎	橋本
2	4月13日	14:30～16:00	生体の恒常性	橋本
3	4月20日	14:30～16:00	ヒトを構成する細胞と組織	橋本
4	4月27日	14:30～16:00	身体の支持と運動1（骨形成と関節）	橋本
5	5月11日	14:30～16:00	栄養の消化と吸収1（総論）	橋本
6	5月18日	12:45～14:15	身体の支持と運動2（骨格）	橋本
7	”	14:30～16:00	骨学演習	橋本
8	5月25日	12:45～14:15	身体の支持と運動3（体幹の筋肉）	橋本
9	”	14:30～16:00	身体の支持と運動4（四肢の筋肉）	橋本
10	6月1日	14:30～16:00	栄養の消化と吸収2（消化管）	橋本
11	6月8日	14:30～16:00	栄養の消化と吸収3（肝胆膵）	橋本
12	6月15日	14:30～16:00	栄養の消化と吸収4（生理学）	橋本
13	6月22日	14:30～16:00	血液の循環とその調節1（心臓）	橋本
14	6月29日	14:30～16:00	血液の循環とその調節2（脈管系）	橋本
15	7月6日	14:30～16:00	血液の循環とその調節3（血圧の調整）	橋本
16	7月13日	14:30～16:00	試験	

備 考

N11教室で行います。毎週木曜日4コマ目に行います。
 5月18日、25日は3コマ目と4コマ目を続けて授業します。
 担当の先生の都合によって、日程が変更されることがあります。
 7月13日に前期の範囲の定期試験を行います。

授業日程表

回	月 日	時 間	テ - マ ・ 授 業 内 容	担当
17	10月2日	10:15 ~ 11:45	呼吸器系 1 (上気道)	橋本
18	10月11日 (水)	10:15 ~ 11:45	呼吸器系 2 (気管, 気管支, 肺)	橋本
19	10月16日	10:15 ~ 11:45	呼吸の生理	橋本
20	10月23日	10:15 ~ 11:45	泌尿器系 (腎臓, 尿管, 膀胱, 尿道)	橋本
21	10月30日	10:15 ~ 11:45	体液の調節	橋本
22	11月6日	10:15 ~ 11:45	内分泌系 1 (視床下部, 下垂体)	橋本
23	11月13日	10:15 ~ 11:45	内分泌系 2 (甲状腺, 副腎, ランゲルハンス島)	橋本
24	11月20日	10:15 ~ 11:45	ホルモンの働き	橋本
25	12月4日	10:15 ~ 11:45	解剖学実習のオリエンテーション	橋本
26	12月13日 (水)	12:45 ~ 16:00	解剖学実習 1	橋本・小林 ・福田他
27				
28	12月20日 (水)	12:45~16:00	解剖学実習 2	橋本・小林 ・福田他
29				
30	1月10日 (水)	12:45 ~ 16:00	解剖学実習 3	橋本・小林 ・福田他
31				
32			試験	

備 考

N11教室で行います。毎週月曜日 2 コマ目に行います。

10月11日(水) 2 コマ目に行います。

12月13日, 20日, 1月10日 3 コマ・4 コマ目には解剖学実習を行う。

授業科目名	形態と機能	担当教員	教授 橋本 龍樹 他		
開講年次及び学期	1年 後期	必修・選択の別	必修		
開講形態	講義	時間数	30	単位数	2
<p>授業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒトの構造と機能を関連づけて学習する。 ・中枢神経系，末梢神経系，自律神経系，感覚器系，生殖器系，人体発生学，血液について解剖学及び生理学について学習する。 ・指定した教科書，プリント，模型等を用いて授業を行い，人体の立体的な構造について説明する。 					
<p>G I O（一般目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護師になったとき，患者様の訴えを正しく理解し，病気の本質を見極めるために必要な知識を習得する事を目標とする。 ・看護学を学習するために必要な基礎知識を習得し，アセスメントや看護援助の基礎を確立することを目標とする。 					
<p>S B O（行動目標）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人体の正常な構造と名称，形態，立体的な位置関係が説明できる。 2. 各器官系の機能や生態における役割が説明できる。 3. 生命誕生から成人を経て高齢者となるライフステージにおける人体の変化が説明できる。 					
<p>成績評価の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席状況及び筆記試験により判定する。 					
<p>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</p> <p>教科書：「系統解剖学講座 専門基礎1 解剖生理学」医学書院</p> <p>参考図書：「カラー人体解剖学，構造と機能：ミクロからマクロまで」井上貴央監訳 西村書店 「現代の解剖学 改定新版」山田安正著 金原出版 「人体解剖学」改訂42版 藤田恒太郎 南江堂 「からだの構造と機能」三木明德・井上貴央監訳 西村書店</p>					

授業日程表

回	月 日	時 間	テ - マ ・ 授 業 内 容	担当
1	10月4日	10:15 ~ 11:45	神経学総論	橋本
2	10月18日	10:15 ~ 11:45	中枢神経系 1 (大脳, 間脳)	橋本
3	10月25日	10:15 ~ 11:45	中枢神経系 2 (中脳, 橋, 延髄, 脊髄)	橋本
4	11月8日	10:15 ~ 11:45	末梢神経系 1 (頸髄, 胸髄からの脊髄神経)	橋本
5	11月15日	10:15 ~ 11:45	末梢神経系 2 (腰髄, 仙髄からの脊髄神経)	橋本
6	11月22日	10:15 ~ 11:45	自律神経系 (交感神経, 副交感神経)	橋本
7	11月27日 (月)	10:15 ~ 11:45	感覚器系 1 (嗅覚, 視覚)	橋本
8	11月29日	10:15 ~ 11:45	感覚器系 2 (味覚, 聴覚, 平衡覚)	橋本
9	12月13日	10:15 ~ 11:45	男性生殖器 (精巣, 前立腺, 陰嚢, 陰茎)	橋本
10	12月20日	10:15 ~ 11:45	女性生殖器 1 (卵巣, 卵管)	橋本
11	1月10日	10:15 ~ 11:45	女性生殖器 2 (子宮, 膣, 外陰部)	橋本
12	1月15日 (月)	10:15 ~ 11:45	人体発生学 1 (精子及び卵子形成, 受精, 胎芽)	橋本
13	1月17日	10:15 ~ 11:45	人体発生学 2 (胎児, 胎盤, 出産)	橋本
14	1月22日 (月)	10:15 ~ 11:45	血液 1 (血液の組成と機能)	福田
15	1月29日 (月)	10:15 ~ 11:45	血液 2 (生体の防御と免疫系)	福田
16			試験	

備 考

N11教室で行います。毎週水曜日 2 コマ目に行います。

11月27日(月), 1月15日(月), 1月22日(月), 1月29日(月) 2 コマ目に行います。

担当の先生の都合によって、日程が変更されることがあります。

授業科目名	環境保健学	担当教員	特任教授 小林 裕太		
開講年次及び学期	1年 後期	必修・選択の別	必修		
開講形態	講義	時間数	30	単位数	2
<p>授業概要</p> <p>衛生・公衆衛生の概要を学ぶ。個人の健康と疾病リスク，疾病予防と健康増進について，さらに社会の中で集団としてとらえた場合の疾病予防と健康増進について学ぶ。一方，私たちの生活は，様々な環境要因の中で営まれている。これら生活環境と健康との関係を学ぶ。なお，1年生の前期の講義なので，講義の中で主要な疾病そのものに関する概略の知識が持てるようにする。</p> <p>さらに，人々の生活環境をより良いものとする目的をもって行われる環境行政・公衆衛生や地域における健康危機管理・災害看護，国際保健医療について概説する。</p>					
<p>G I O（一般目標）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 衛生・公衆衛生の概要を理解する。 2. 疾病リスクと予防，健康増進について理解する。 3. 集団を通して個人の健康を考える方法を理解する。 4. 様々な環境と人間の健康との関わりを理解する。 5. 地域環境保健をすすめる行政施策を理解する。 6. 健康増進に関連する政策と保健活動について理解する。 7. 地域における健康危機管理及びその対策に関わる看護職の役割について理解できる。 8. 国際保健医療・災害医療保健について理解する。 					
<p>S B O（行動目標）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 衛生・公衆衛生の概要を説明できる。 2. 疾病構造の変遷，疾病対策，医療対策の動向と看護の役割について説明できる。 3. 疾病リスクと予防について説明できる。 4. 個人の健康と集団との関係を概説できる。 5. 環境要因と健康の関係を説明できる。環境をアセスメントし，健康との関わりが説明できる。 6. 疾病予防の方法と環境行政について説明できる。健康増進に関連する政策と保健活動について説明できる。 7. 環境を管理する仕組みについて説明できる。 8. 地域における健康危機管理及びその対策に関わる看護職の役割について概説できる。 9. グローバリゼーション・国際化の動向における看護のあり方について理解できる。 					
<p>成績評価の方法</p> <p>ミニテスト，課題レポートおよび学期末筆記試験により行う。</p>					
<p>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</p> <p>教科書：小山 洋 他編集．シンプル衛生公衆衛生学2017．南江堂．2017．</p>					

授業計画

回	月日 (曜日)	時間	講義 室	テーマ	授業内容	備考
1	10月4日 (水)	12:45～ 14:15	N11	衛生学・公衆衛生 序論	衛生学・公衆衛生の基本的考え方について学ぶ。	
2	10月18日 (水)	"	"	健康指標と保健統計	健康指標と保健統計について学ぶ。疫学についての概略を学ぶ。	
3	10月18日 (水)	16:15～ 17:45	"	疫学序論	疾病，疾病調査の基礎について学ぶ。	
4	10月25日 (水)	12:45～ 14:15	"	疾病予防と健康管理	疾病リスクと予防について学ぶ。	
5	11月1日 (水)	"	"	感染症の予防	感染症とその予防について学ぶ。	
6	11月15日 (水)	16:15～ 17:45	N21	循環器疾患の予防	循環器疾患とその予防について学ぶ。	
7	11月16日 (木)	12:45～ 14:15	"	さまざまな疾病等 の予防	がんを含む循環器系以外の生活習慣病のリスク要因について学ぶ。アレルギーと事故についても学ぶ。	
8	11月29日 (水)	"	N11	健康危機管理1	地域における健康危機管理と医療計画，保健所の役割について学ぶ。	嘱託講師 関 龍太郎
9	12月6日 (水)	"	"	健康危機管理2	地域における健康危機管理と医療計画，保健所の役割について学ぶ。	嘱託講師 関 龍太郎
10	12月7日 (木)	14:30～ 16:00	N21	環境と健康	環境のとらえ方，環境と健康との関わりを学ぶ。	
11	12月14日 (木)	"	"	衣食住と健康	衣食住と健康・空気と水の衛生について学ぶ。	
12	12月21日 (木)	"	"	生物学的環境要因 と健康	生物学的環境要因と健康について学ぶ。	
13	1月4日 (木)	"	"	物理的環境要因と 健康	物理的環境要因と健康について学ぶ。	
14	1月11日 (木)	"	"	化学的環境要因と 健康	化学的環境要因と健康について学ぶ。	
15	1月17日 (水)	"	N11	環境の管理・国際保 健医療・災害医療	環境の管理，国際保健医療，災害医療について学ぶ。	
16	1月18日 (木)	16:15～ 17:45	"	まとめ	1st trial	
17	1月24日 (水)	"	"	発表会	グループワーク発表会	

備 考

教科書「シンプル衛生公衆衛生学2017」の後半は地域看護学で学んでください。

11月22日は卒業研究発表会のため休講です。ぜひ発表を聞いてください。補講11/15の5コマ目，解剖実習のため12/13，12/20，1/10は休講，12/14，12/21，1/11の4コマ目に補講をします。

10/11，11/8は会議のため休講，10/18，11/15の5コマ目に講義をします。

11/15の3コマ目は講師の方の都合で「感染と免疫」と入れ替え，11/16にします。

進行の都合で12/7，1/4の4コマ目にも講義をします。

成績評価：First Trialでは毎回のミニテストとレポートで全部で30%，筆記試験を70%として評価します。本試験はFirst Trial 50%，筆記試験50%，とします。再試験は筆記試験のみで評価します。

欠席はFirst Trialで1回につき2点減点とします。

授業科目名	栄 養 と 代 謝	担当教員	特任教授 小林 裕太, 講師 宮本 まゆみ 他		
開講年次及び学期	1 年 後期	必修・選択の別	必修		
開 講 形 態	講義	時間数	30	単位数	2
<p>授業概要</p> <p>生命維持に必要な栄養素や生体構成成分の機能, それらの代謝および身体機能恒常性維持の機構について学ぶ。一方, 健康の保持増進, 疾病予防のために必要な食生活について学習する。さらには, 治療の一環としての食事指導, 経管栄養, 病院における栄養サポートチームの意義などに必要な知識を習得する。</p>					
<p>G I O (一般目標)</p> <p>生命現象と生体構成成分との関係を理解し, 生体の内部環境の維持の仕組みとその重要性を知る。生命維持に必要な栄養素の役割を理解し, 健康の保持増進, 疾病予防のために必要な食生活の基礎知識を得る。対象者の栄養状態をアセスメントし, 必要な対応について説明できる。各種疾患に対する食事療法や経管栄養, 病院における栄養サポートチームの意義などの知識を習得する。</p>					
<p>S B O (行動目標)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 各栄養素についてそれぞれの栄養的役割が説明できる。 2. 食品群の特色を知り, 栄養との関係について説明できる。 3. 糖質, 脂質, たんぱく質の代謝について理解し, 説明できる。 4. ビタミン, 水分・無機質代謝と身体機能恒常性維持との関係について説明できる。 5. 核酸代謝, 遺伝情報の発現とその制御について, 概略が説明できる。 6. 対象者の栄養状態をアセスメントし, 必要な対応が説明できる。 7. 健康の保持増進, 疾病予防のために必要な食生活について説明できる。 8. 病院における栄養サポートチームの意義について説明できる 9. 疾病における食事指導, 経管栄養などについて概要を説明できる。 					
<p>成績評価の方法</p> <p>ミニテスト, レポート及び学期末の筆記試験により評価する。</p>					
<p>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</p> <p>教科書: 「新体系看護学全書 2 栄養生化学」第4版 メヂカルフレンド社</p> <p>参考書: 「栄養学」系統看護学講座 専門基礎3 医学書院 「よくわかる専門基礎講座 栄養学」津田とみ, 金原出版</p>					

授業日程表

回	月日	時間	教室	テ ー マ	授 業 内 容	担当者
1	10月5日 (木)	16:15 ~ 17:45	N11	栄養と生化学	5大栄養素, 代謝と生命活動について学ぶ。	小林
2	10月19日 (木)	"	"	食物と栄養	健康と栄養, 食品群の特徴と栄養との関係を学ぶ。	小林
3	10月25日 (水)	"	"	糖質の栄養生化学	糖質の構造, 性質, 糖質の消化吸収と栄養的役割, 体内での代謝と関連疾患について学ぶ。	小林
4	10月26日 (木)	"	"	脂質の栄養生化学	脂質の構造, 性質, 脂質の消化吸収と栄養的役割, 体内での代謝と関連疾患について学ぶ。	小林
5	11月1日 (水)	"	"	ビタミンとミネラル	ビタミンとミネラルについて構造, 性質, 吸収と栄養的役割, 関連疾患について学ぶ。	小林
6	11月2日 (木)	"	"	たんぱく質, アミノ酸	たんぱく質とアミノ酸の構造, 性質, たんぱく質の消化吸収と栄養的役割, 体内での代謝と関連疾患について学ぶ。	産学連携センター 中村守彦教授
7	11月9日 (木)	"	"	酵素	酵素の特性と臨床への応用について学ぶ。	小林
8	11月16日 (木)	"	"	生体エネルギーと代謝	生体エネルギーと代謝について学ぶ。	小林
9	11月29日 (水)	"	"	その他の生体内の物質	リポたんぱく質, ポルフィリン, ヌクレオチドと核酸の構造と代謝について学ぶ。	小林
10	11月30日 (木)	"	"	遺伝情報	DNAの複製, 転写と翻訳, 遺伝子操作について学ぶ。	小林
11	12月6日 (水)	14:30 ~ 16:00	"	食事摂取基準/ 成長・生活と栄養	食事摂取基準について, ライフサイクルと栄養について学ぶ。	小林
12	12月7日 (木)	"	"	栄養サポートチーム/ 病院食	病院食と栄養サポートチームについて学ぶ	小林
13	12月14日 (木)	"	"	栄養代謝機能の 障害と看護	疾病に伴う低栄養状態のアセスメントと看護について学ぶ。	宮本
14	12月21日 (木)	"	"	経管栄養	経管栄養, 胃ろうの基本と管理について学ぶ。	宮本
15	1月4日 (木)	"	"	食事療法	疾病治療における食事療法の重要性について学ぶ。	小林
16	1月11日 (木)	"	"	まとめ	First trial	

備 考

10/12は解剖体慰霊祭で休講10/25に補講をします。
進行の都合で11/29の5コマ目, 12/6の3コマ目に補講を行います。

授業科目名	社会福祉論	担当教員	嘱託講師 山本 眞一		
開講年次及び学期	前期	必修・選択の別	選択		
開講形態	講義	時間数	30	単位数	2
<p>授業概要</p> <p>私たちは多くの社会制度との社会関係をもって、日々生活を営んでいる。その過程で様々な生活問題（失業、離婚、不登校、疾病等）に直面する場合がある。その多くはそれぞれの力で解決して生活している。しかし、主体的に解決できないときには生活困難に陥ることもある。そんな時に社会福祉の援助を必要としよう。社会福祉の歴史と現状（法制度、行政機構、民間施設等）を解説し、認識を深める。そして社会福祉の今日的課題を明らかにし、改善方法について考える。</p>					
<p>G I O（一般目標）</p> <p>社会福祉の援助とはどういうものかについて深く理解し、専門領域としての社会福祉の固有の領域を認識する。そのためにもイギリスの社会福祉の歴史を、エリザベス救貧法から新救貧法、セツルメント、社会福祉事業への史的展開を学習し、ノーマライゼーションの考え方を認識する。また、看護師として医療ソーシャルワークへの理解を深める。</p>					
<p>S B O（行動目標）</p> <p>社会福祉の援助の基本的理解の上に立って、日本の社会福祉の各分野（児童福祉、高齢者福祉、障害者福祉、生活保護等）及び援助主体、援助方法について学習する。またケースの事例より具体的に理解を深める。そして、社会保障についても、社会保険（医療保険、年金保険、介護保険、生活保護法等）の法制度について理解を深め、今後の課題を認識する。</p>					
<p>成績評価の方法</p> <p>定期試験の成績で行う。 欠席は1回につき - 5点。</p>					
<p>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</p> <p>教科書：社会福祉 - 健康支援と社会保障制度 [3] (系統看護学講座) 医学書院</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要な資料は適宜配布します。 ・参考書：「社会福祉原論」岡村重夫, (全社協), 「社会福祉概論」介護福祉士養成編集委員会編 (中央法規) 					
<p>オフィスアワー</p> <p>火曜日の昼休み時間</p>					

授業計画

回	テ　　マ	授　業　内　容	備　考
1	人間の生活と家族	人間の生活の基本的構造と機能について認識する	
2	社会保障制度と社会福祉	社会保障制度と社会福祉を概説し理解する	
3	社会福祉の法制度	社会福祉6法について理解する	
4	現代社会の変化と社会保障、福祉の動向	少子化，高齢化，都市化と社会福祉の関連について	
5	医療保障	医療保障としての社会保障，医療保険について	
6	高齢者と介護保障	介護保険の概要を概説し理解する	
7	所得保障	年金保険，雇用保険を概説し理解する	
8	公的扶助	生活保護法を概説し理解する	
9	障がい者福祉	障がい者福祉を概説し理解する	
10	児童福祉	児童福祉を概説し理解する	
11	社会福祉の歴史	イギリス，日本の社会福祉の歴史を概説し理解する	
12	社会福祉の援助	社会福祉の援助，及び固有の視点を理解する	
13	社会福祉の援助	社会福祉の援助の補完性，代替性，二重性について理解する	
14	社会福祉の援助技術	ケースワーク，グループワーク等を理解する	
15	事例研究	メディカルソーシャルワークを事例から理解を深める	

備　考

授業科目名	海外研修 A (Overseas Study Program A)	担当教員	教授 岩田 淳		
開講年次及び学期	主として1～2年生 長期休暇中	必修・選択の別	自由		
開講形態	実習	時間数	(40時間)	単位数	1

授業概要

本研修は、医学部がニュージーランドのWaikato Institute of Technology (WINTEC) の国際交流課、英語学部、健康学部と協力し、本学部の医学科、看護学科1，2年生を対象に実施する海外研修プログラムです。本プログラムでは、2週間の海外研修、事前事後の研修を通じて、(1) 基礎的な英語コミュニケーション能力と専門英語（医学英語、看護英語）の基礎力向上をはかり、(2) 海外の医療教育機関や施設の見学を通じて、医療に関する知識や視野を広げ、(3) ホームステイ等による異文化交流体験を通じて国際性を養うことを目的としている。研修期間中には次のような活動を行います。

- ・英語学習（日常英会話・基礎的な医学英語/看護英語）
- ・施設見学（クリニック、病院、高齢者施設、ホスピス、助産施設等）
- ・講義（ニュージーランドの医療制度等）
- ・他国からの留学生との交流
- ・各種イベント（歓迎・お別れパーティー、ニュージーランドの自然と文化見学等）

* 本科目は医学部の英語教育高度化プログラム「Advanced English Skills Course」の対象科目です。在学中に本コースの科目群から合計120時間以上履修した学生には修了認定証 (Certificate for Advanced English Skills) が授与されます。

対 象

医学科、看護学科の主として1-2年生

成績評価の方法

事前指導、事後指導、研修報告書及び報告会での発表により評価する。

実習日程・履修申込時期その他

実習日程は3月初旬～中旬を予定しています。研修の説明会、参加者募集は7月初旬に行います。また、本研修に参加する学生は、事前指導としてアドバンスト・イングリッシュ・スキルコースの「海外留学セミナー (Seminar on Overseas Study)」(後期) の履修を必須とします。

授業科目名	海外研修 B (Overseas Study Program B)	担当教員	募集時に決定		
開講年次及び学期	主として2～4年生 長期休暇中	必修・選択の別	自由		
開講形態	実習	時間数	(40時間)	単位数	1
<p>授業概要</p> <p>海外の医療施設・研究所等で医療に関する体験学習，施設見学，異文化体験等を通じて，海外における地域医療，家庭医療について学び医療人としての視野を広げることを目的とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外の地域医療・家庭医療について学ぶ。 ・海外の保健制度について学ぶ。 ・海外の医療教育機関や施設の見学を通じて，医療に関する知識や視野を広げる。 ・異文化交流体験を通じて，国際性を養う。 <p>* 本科目は医学部の英語教育高度化プログラム「Advanced English Skills Course」の対象科目です。在学中に本コースの科目群から合計120時間以上履修した学生には修了認定証 (Certificate for Advanced English Skills) が授与されます。</p>					
<p>対 象</p> <p>医学科 (主として4-6年)，看護学科 (2-4年) を対象とした海外研修。</p>					
<p>成績評価の方法</p> <p>事前指導，事後指導，研修報告書及び報告会での発表により評価する。</p>					
<p>実習日程・履修申込時期その他</p> <p>実習日程，履修申込時期は，後日通知する。</p>					

授業科目名	海外研修 C (Overseas Study Program C)	担当教員	審査後決定		
開講年次及び学期	1～4年生 長期休暇中	必修・選択の別	自由		
開講形態	実習	時間数	(40時間)	単位数	1

授業概要

医学部が主催する「海外研修 A」,「海外研修 B」とは異なり, 学生が自主的かつ主体的に行う医療に関する語学学習や語学研修や体験を主たる目的とした40時間以上の海外研修

学生が主体的に企画した計画を審査する。

審査項目は次のとおり

- ・ 研修目的, 内容, 期間, 時間数
- ・ 受入機関の体制 (施設・人員等)
- ・ 安全確保と緊急時の連絡体制 (渡航先の安全確認, 安全教育, 海外旅行保険加入, 緊急時連絡網等)
- ・ 事前研修 (安全教育等), 事後研修 (報告書, 報告会) の計画

* 本科目は医学部の英語教育高度化プログラム「Advanced English Skills Course」の対象科目です。在学中に本コースの科目群から合計120時間以上履修した学生には修了認定証 (Certificate for Advanced English Skills) が授与されます。

対 象

医学科看護学科の全学年を対象とした海外研修。

成績評価の方法

事前指導, 事後指導, 研修報告書及び報告会での発表により評価する。

実習日程・履修申込時期その他

海外研修 C 申請書及び添付書類を渡航 1 月前までに学務課教育改革・教務担当に提出する。企画前であっても学務課教育改革・教務担当で相談を受け付ける。

專 門 教 育 科 目
專 門 科 目

授業科目名	看護学原論	担当教員	教授 内田 宏美		
開講年次及び学期	1年 前期	必修・選択の別	必修		
開講形態	講義	時間数	30	単位数	2
<p>授業概要</p> <p>ケアリングおよび看護倫理を基盤とした看護の原点としての在り様を追求しながら、看護の対象論・目的論・方法論の概要を学ぶ。看護の対象となる人間を多面的・統合的存在として理解する看護学の基盤としての人間観を身につけ、人間科学としての看護学の視座をふまえて、看護実践の基盤をなす看護学の知識体系を理解する。現代社会における人々の健康ニーズに対応するための、保健医療福祉教育システムにおける専門職としての看護の機能と役割を考察し、将来にわたって看護学を追求することの意義を展望する。</p>					
<p>G I O (一般目標)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 看護の対象となる人間を多面的・総合的に理解することにより、看護学の基盤としての人間観を育む。また、人間を取り巻く環境と健康生活との関連について理解し、看護学の基盤としての健康観を育む。 2. 看護実践の基盤をなす人間科学としての看護学の知識体系を理解する。 3. ケアリングと看護倫理に基づいて、社会の健康ニーズに応える看護専門職の役割と機能を考察する。 					
<p>S B O (行動目標)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 職業としての看護、学問としての看護学を概観し、看護への学習を動機付ける。 2. 看護の定義、看護実践の目的、および、看護に求められる具体的役割を理解する。 3. 科学の発展過程と人間科学としての看護の視座を理解する。 4. 看護活動の対象である人間を、成長・発達、ライフサイクルの側面、生活主体としての側面から理解する。 5. 看護活動の対象である人間の統合性・全体性について理解する。 6. 環境の概念を理解し、人間と環境との相互作用について理解する。 7. 看護活動の対象である人間を人間関係の側面から理解する。 8. 健康の諸概念を踏まえて、多様化する健康観と健康生活のあり方を考察する。 9. 人間関係形成を基盤として健康問題の解決を図る看護実践プロセスを理解する。 10. ニードの充足と自立に焦点を当てた看護活動について理解する。 11. 適応に焦点を当てた看護活動について理解する。 12. 援助的な対人関係の形成に焦点を当てた看護活動について理解する。 13. 看護における実践・教育・管理・研究活動の基盤となる倫理について理解する。 14. 社会の健康ニーズに対応した看護専門職に期待される役割と機能を理解する。 					
<p>成績評価の方法</p> <p>授業毎の課題レポート50%、筆記試験(記述式) 50%により総合的に評価する。</p>					
<p>教科書</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 南江堂：看護学テキストNICE 看護学原論 改訂第2版 <p>その他、参考文献については授業の中で随時紹介する</p>					

授業計画

回	月日	テ ー マ	授 業 内 容	担当
1	4/18	看護の起源と看護学 ナイチンゲールの業績と近代 看護の成り立ち	職業としての看護。学問としての看護学。 “何が看護で、何が看護でないか” ナイチンゲールの看護観の今日的意義。	内田
2	4/20 5・6時限	現代の看護 (専門職としての看護職の育成)	プロフェッショナルとしての看護 制度としての看護職の育成 看護実践能力の育成と卒業時の到達度	内田
3	4/25	専門職としての看護実践とは？	映画『ジョニーは戦場へ行った』を観劇して ケアにおけるジレンマについて考える。	内田
4	5/9	看護実践と倫理	看護の実践におけるジレンマについて考える	内田
5	5/11 5・6時限	人間理解と看護 ：ニードを充足する人間	人間の基本的ニード。ニードの充足。自立。 自己実現。セルフケア	内田
6	5/23	人間理解と看護 ：成長・発達する人間	成長・発達し、生活の主体として生きる人間。	内田
7	5/30	人間理解と看護 ：役割、他者との相互作用	自己と他者。他者理解。人間関係の影響。 社会的役割。文化の中での役割と役割葛藤。	内田
8	6/6	人間 - 環境 - 看護 ：適応する人間	環境との相互作用。ストレスとコーピング。 自己理解：自己のコーピング・パターンの測定	内田
9	6/13	人間 - 環境 - 看護 ：適応する人間	自己像と自己への適応。不安。喪失。 看護ケアにおける危機理論の活用。	内田
10	6/20	人間 - 環境 - 看護 ：援助的人間関係	コミュニケーションの基本技術 援助的人間関係を基盤にした看護理論	内田
11	6/27	自己理解と看護 看護の本質：ケアリング	エコグラムによる自己理解。 ケアリング理論。	内田
12	7/4	看護実践のプロセス ：問題解決過程としての 看護過程	看護アセスメントの視点。 関係形成過程と健康問題解決過程から成る看護 のプロセス。	内田
13	7/11	看護実践のプロセス ：問題解決過程としての 看護過程	科学的根拠に基づく論理的、系統的、合理的 実践。 実践～評価の螺旋状サイクルとしての看護実践。	内田
14	7/18	看護実践のプロセス ：治療的人間関係形成過程 としての看護過程	その人らしさを支える。 癒し癒され、人として成長する。	内田
15	7/25	専門職としての看護と倫理 ：倫理的意思決定と責務	看護実践における倫理的概念。 倫理的ジレンマと道徳的苦悩と向き合う。 ケアを必要とする人とともに。	内田

備 考

参考書（授業の中で随時紹介する。下記は一例）

- 1) ナイチンゲール著、湯槇ます他訳『看護覚え書き』現代社
- 2) ヴァージニア・ヘンダーソン著、湯槇ます他訳『看護の基本となるもの』日本看護協会出版会
- 3) ミルトン・メイヤロフ『ケアの本質 生きることの意味』ゆるみ出版
- 4) 高橋みや子監修『日本の看護120年 - 歴史を作るあなたへ』日本看護協会出版会

授業科目名	援助関係論演習	担当教員	准教授 福間 美紀 他		
開講年次及び学期	1年 後期	必修・選択の別	必修		
開講形態	演習	時間数	30	単位数	1
<p>授業概要</p> <p>この科目では、保健師・助産師・看護師・養護教諭などの看護職に必要な自己理解・他者理解を通し、人間関係形成について学びます。</p> <p>講義では、看護の場面での援助関係形成のあり方や必要なコミュニケーションの知識と技術、基本的態度について学びます。</p> <p>演習では、グループワークやロールプレイを行い、援助関係の基盤となる自己理解、自己表現、共感的理解、面接技法について体験学習します。</p>					
<p>G I O（一般目標）</p> <p>援助関係形成の基盤となる基礎的知識・技術・態度を習得するとともに、対人関係における自己のありように気づく。</p>					
<p>S B O（行動目標）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 看護における援助の人間関係形成の必要性を理解する。 2. 自己理解・他者理解の必要性を理解する。 3. 援助関係に必要なコミュニケーションとコミュニケーションスキルを習得する。 4. 援助関係向上に向けたコミュニケーションについて、自己の振り返りを行うことができる。 5. 体験を通して、援助的人間関係とは何かについて考えることができる。 6. 看護の場面における援助関係の実際を知ることができる。 					
<p>成績評価の方法</p> <p>授業及びグループワークへの参加状況取り組み及び事後のレポート（30%）</p> <p>ロールプレイ・プロセスレコード演習のレポート（30%）</p> <p>筆記試験（40%）</p>					
<p>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</p> <p>教科書：1. 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学（2）基礎看護技術 ，医学書院</p> <p>参考書：1. 系統看護学講座 基礎分野 人間関係論，医学書院</p> <p>2. 人間関係論入門（ナースのための心理学），金子書房</p>					

授業計画

回数	月日	場所	項目	内容	担当
1	10/3	N21	専門職に求められる援助関係の基本	援助的人間関係の基本的な考え方 コミュニケーションの構成要素	福間
2	10/10	"	自己の理解と 他者理解	自我構造の理解 (PAC分析)	福間
3	11/14	"		場を読む 他者の気持ちを「きく」「引き出す」「受け止める」	福間
4	8:30 ~ 11:45	"		看護に必要な援助的関係づくり, 場づくり 他者との交流, 他者理解	福間
5	11/21	"		対人関係を促進させるフィードバックのスキル プロセスレコードの目的, 書き方	福間
6	11/28	"	専門職に求められる援助関係の 基本	専門職が提供する援助関係とは 援助関係の諸段階, 援助者の基本的態度	福間
7	12/5	"		傾聴とは何を聴くことか 援助関係における傾聴の意義	福間
8	12/12	"		さわやかな自己表現 (アサーション)	福間
9	12/19	第4 実習室		ロールプレイ・ プロセスレコード 演習	看護場面でのコミュニケーション・ロールプレイ プロセスレコード演習
10	8:30 ~ 11:45		プロセスレコード演習 の振り返り		福間 坂根 玉川
11	1/9	第4 実習室	看護場面でのコミュニケーション・ロールプレイ プロセスレコード演習		福間 坂根 玉川
12	8:30 ~ 11:45		プロセスレコード演習 の振り返り		福間 坂根 玉川
13	1/16	N21	援助関係の実際	闘病生活を支える人間関係	福間
14	1/23	"		保健医療チームの人間関係	福間
15	1/30	"		学校内での人間関係	宮本
備 考					

授業科目名	ヘルスアセスメント技術演習	担当教員	准教授 福間 美紀 他		
開講年次及び学期	1年 後期	必修・選択の別	必修		
開講形態	演習	時間数	30	単位数	1
<p>授業概要</p> <p>身体診察技術と看護ヘルスアセスメント</p> <p>看護者の判断や実践が明確な根拠に基づいていなければ、科学的看護は実践できない。適切な看護を導き出すためには、全人的存在である人間の身体的・精神的・社会的反応を的確に捉えることが重要である。特に、身体反応の意味と生活に及ぼす影響をアセスメントすることは、科学的で個別的な看護を実践するための基本である。そこで、身体診察の技法を看護に取り入れ、看護ケアに必要なヘルスアセスメントの方法論を学ぶ。</p> <p>将来、これらのケア技術を安全かつ安楽に的確に実施できるよう、また、多様な場面で活用できるよう、“覚える”学習ではなく、科学的根拠に基づいた原理・原則を主体的に学び、状況に応じた方法を考えることに重きを置いた学習を行う。</p> <p><u>夏期休暇で、「形態と機能」の復習を行い、身体各部の名称等を理解しておくこと。</u> 教科書2（山内）のワークブックを予習すること。</p>					
<p>G I O（一般目標）</p> <p>看護ケアに活用するためのヘルスアセスメントの視点と方法を理解し、基本的な身体診察技術を習得する。</p>					
<p>S B O（行動目標）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 看護ヘルスアセスメントの視点と目的、方法を理解する。 2. 科学的根拠に基づく身体診察の基本的な方法を習得する。 3. 問診と身体診察の技術を用いて、得られたデータの正常・異常の判断ができる。 4. 身体診察のデータが健康状態と健康生活へ影響する事を理解できる。 5. 事例演習の中でフィジカルアセスメントを効果的に活用するための方法を模索し、簡単な状況設定の基での活用ができる。 <p>個々の演習課題ごとに、下位レベルの行動目標を別途提示する。</p>					
<p>成績評価の方法</p> <p>事前・事後の課題学習の提出をもって筆記試験・実技試験の受験を認める。 筆記試験50%・実技試験50%の配分で評価する。 再試験は行わない。実技試験で力が発揮できるよう、準備すること。</p>					
<p>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</p> <p>教科書：1 松尾ミヨ子他編：ナーシング・グラフィカ 基礎看護学 ヘルスアセスメント。MCメディカ出版 2 山内豊明：フィジカルアセスメント ワークブック：身体の仕組みと働きをアセスメントにつなげる。医学書院</p> <p>参考書：馬場元毅，鎌倉やよい：脳からわかる摂食・嚥下障害：深く知る，学研メディカル秀潤社 山内豊明：フィジカルアセスメントガイドブック目とてと耳でここまでわかる（第2版），医学書院</p> <p>D V D：第3実習室の書棚に関連するD V Dを多数整備してあるので事前・事後学習に活用すること</p>					

授業計画

回数	月日	時限	内容	方法	責任者	担当
1	10/5	1・2	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルスアセスメントの視点と方法 ・ヘルスアセスメント技術演習の学習の仕方 ・第3実習室のガイダンス ・臨床場面でのヘルスアセスメント (ユニフォームで第3実習室に集合すること) 	デモ演習	福岡	内田・宮本 坂根
2		3・4				
3	10/19	3・4	・頭部・頸部・口腔・皮膚のアセスメント	デモ演習	宮本	内田・福岡 坂根
4	10/26	1・2	<ul style="list-style-type: none"> ・バイタル・サイン (血圧, 脈拍, 体温, 呼吸, 意識レベル) ・全身状態のアセスメント 	デモ演習	福岡	内田・宮本 坂根・細貝
5		3・4				
6	11/2	1・2	・筋・骨格系のアセスメント	デモ演習	福岡	内田・宮本 坂根
7	11/9	3・4	・中枢神経系 (12脳神経, 姿勢) のアセスメント	デモ演習	福岡	内田・宮本 坂根
8	11/16	3・4	・腹部・消化器系のアセスメント	デモ演習	宮本	内田・福岡 坂根
9	11/30	1・2	<ul style="list-style-type: none"> ・呼吸器系のアセスメント 呼吸音の聴取, 呼吸状態の観察 	デモ演習	福岡	内田・宮本 坂根・細貝
10		3・4				
11	12/7	1・2	<ul style="list-style-type: none"> ・循環器系のアセスメント 心音の聴取, 心電図の測定 	デモ演習	宮本	内田・福岡 坂根・細貝
12		3・4				
	12/14	9:00 - 14:00 自由練習日				
13	12/19 (火)	5・6	実技テスト：バイタル・サインの測定 (待機時間は, これまでのフィジカルエグザムのチェック)	実技テスト	福岡	内田・津本 宮本・坂根 細貝
14		7・8				
15	1/16 (火)	5・6	実技テスト：身体診察の技術	実技テスト	福岡	内田・津本 宮本・坂根 細貝
		7・8				

備考

筆記試験は, 試験期間中に設定する。

授業科目名	基礎看護学実習	担当教員	准教授 福間 美紀 他		
開講年次及び学期	1年 後期	必修・選択の別	必修		
開講形態	実習	時間数	45	単位数	1
<p>実習概要</p> <p>療養生活を送る人との対話及び看護活動の観察を通して、看護師と患者との援助関係のあり方及び看護の機能について理解する。</p>					
<p>G I O (一般目標)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 専門職としての基本的態度および学習方法を身につける。 2. 望ましい人間関係の形成過程を理解する。 3. 看護の視点で人間と健康生活を理解する。 4. 看護の機能について理解する。 					
<p>S B O (行動目標)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 専門職としての基本的な態度と学習方法を身につける。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 指導者や教員に報告や相談を行い、責任のある行動をとることができる。 2) 対象者の個人情報の保護や、守秘義務を遵守することができる。 3) 対象者の自己決定の権利を尊重する。 4) 対象者の安全を擁護する行動をとることができる。 5) 対象者の信頼を得るように身だしなみや態度の品行を高く維持する。 6) カンファレンスや全体討議での意見交換を活用し、学びを深めることができる。 7) 健康管理の指針に基づき自己の健康管理ができる。 2. 看護師と対象者との望ましい援助関係のあり方を理解する。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 対象者に積極的な関心を持つことができる。 2) 看護活動でのコミュニケーションの意義を理解することができる。 3) 対象者の思いに沿ったコミュニケーション技術を活用することができる。 4) 対象者と自己の相互作用について振り返ることができる。 5) 対象者に対する効果的な関わりについて考えることができる。 6) 対象者を尊重したコミュニケーションを実践することができる。 7) 看護師と対象者との望ましい援助関係のあり方を考えることができる。 3. 看護の視点で人間と健康生活を理解する。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 人間のライフサイクルにおける発達課題の特徴を理解する。 2) 健康状態と基本的欲求充足状況との関連について理解する。 3) 健康状態と環境に対する適応について理解する。 4. 看護の機能について理解する。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 対象者に応じた教育・相談的機能について理解する。 2) 対象者に応じた直接的ケアの機能について理解する。 3) 医療チームの中での調整機能について理解する。 					
<p>成績評価の方法</p> <p>出席状況、実習態度、実習記録、自己評価等より評価する。</p>					
<p>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別冊「臨地実習の手引き」を配布する。 ・実習ユニフォーム、ナースシューズ、名札等を準備する。 ・各自、「看護学原論」「援助関係論」のテキストと配布資料を活用すること。 					

授業日程表

回	月日	時間	場所	内容	担当
0	前期の予定 掲示板にて後日知らせる			ユニフォームに関する説明	福間 宮本
0	前期の予定 掲示板にて後日知らせる			事前のオリエンテーション	福間 坂根
1 2	10/3	12:45 ~ 16:00	N11	臨地実習全体のオリエンテーション (実習の意義, 目的, 4年間の展開, 手続き)	実習委員会
				基礎看護学実習 の倫理的態度	福間 津本 宮本 坂根
3 4	10/10	12:45 ~ 14:15	第4実習室	基礎看護学実習 のオリエンテーション	福間 津本 宮本 坂根
		14:30 ~ 16:00	各演習室	グループ担当教員とのうちあわせ 医学部附属病院のオリエンテーション	福間 津本 宮本 坂根 田中
5 6 7 8	10/17	8:30 ~ 16:00	病棟 各演習室	午前：附属病院でのシャドイング実習 1 13時から14時まで病棟での振り返り 午後：附属病院でのシャドイング実習 2	福間 津本 宮本 坂根 田中
9 10 11 12	10/24	8:30 ~ 16:00	病棟 各演習室	午前：受け持ち患者実習前オリエンテーション 午後：受け持ち患者実習 1	福間 津本 宮本 坂根 田中
13 14	11/7	8:30 ~ 11:45	各演習室	グループカンファレンス	福間 津本 宮本 坂根 田中
15 16		12:45 ~ 16:00	N11	発表準備 全体討議 (中間：看護の役割機能とその責任)	福間 津本 宮本 坂根 田中
17 18	11/14	"	病棟 各演習室	受け持ち患者実習 2	福間 津本 宮本 坂根 田中
19 20	11/21	"	病棟 各演習室 N21	受け持ち患者実習 3	福間 津本 宮本 坂根 田中
21 22	11/28	"	各演習室	グループカンファレンス	福間 津本 宮本 坂根 田中
23 24	12/5	"	N11	発表準備 全体討議 (最終：看護の対象者とその援助のあり方)	福間 津本 宮本 坂根 田中
25 26	1/9	"	各演習室	個人面談	福間 津本 宮本 坂根 田中

備考

事前課題として、夏期休暇中患者体験記を2本読み、レポートの提出を課する。

患者体験記・闘病記を精読し、著者及び著者の療養生活等についてマズローの基本的欲求、ハビィガーストの発達課題、適応の視点、対象者を取り巻く環境、看護の機能についてレポートする。(最低2本の著書を読み、著書別一枚ずつ、それぞれの違いについて一枚を目安にまとめる)

実習記録の最終提出は、12月8日(金) 16:00とする。

教職に関する科目

授業科目名	教 職 概 論 C	担当教員	教育学部教授 権藤 誠剛 他		
開講年次及び学期	1年 前期	必修・選択の別	選択		
開 講 形 態	講義と演習	時間数	30	単位数	2
<p>授業概要</p> <p>教職の意義及び教員の役割や職務内容等について、歴史的、制度的観点から概説する。また、現代教員制度に関する改革論と大学における教員免許取得方法の改善、拡充の方向について解説し、島根大学における教員免許取得をめざす学びのあり方を「高度専門職としての教師」の観点から理解する。</p>					
<p>科目の達成目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教職の意義や歴史、「高度専門職としての教師」等について理解し、説明できる。 2. 「開放制教員養成」の基本理念について説明できる。 3. 教師について多面的な理解に基づいて考察することができる。 4. 教員養成・教師教育に係わる政策や改革動向、課題等について説明することができる。 					
<p>授業内容</p> <p>オリエンテーション</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教職への道 - 大学で何を学ぶのか 2. 教師になることの意味 3. 教師教育と免許制度 4. 教職の歴史 - 世界の教師、日本の教師 - 5. 戦前・戦後の教師像 6. 教職 = 専門職論の現状と課題 7. 教職の制度 8. 教師の職務と力量形成 9. 授業者としての教師 10. 学級経営者としての教師 11. 学校組織の一員としての教師 12. 教育公務員としての教師 13. 中教審と教員制度改革(1) 14. 中教審と教員制度改革(2) 15. まとめ 					
<p>授業の進め方</p> <p>授業は講義を軸として行いますが、必要に応じて意見発表、演習、質問応答、小テストなどを適宜加えて進めることもあります。</p>					
<p>成績評価の方法</p> <p>授業回数の中の三分の二以上（各担当の回数においても同様）出席し、レポート等の提出物の提出を成績評価の必要条件とします。</p> <p>達成目標 1～4 に係わる試験（100点）</p>					
<p>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</p> <p>テキスト：各授業日の講義開始時に必要があれば、教材プリントを配付します。</p> <p>参考文献：必要に応じて提示します。</p> <p>その他授業資料等：必要に応じて補充資料を配付し、使用します。</p>					
<p>履修上の指導</p> <p>複数の担当教員による、主に土曜日、日曜日での集中講義で行います。</p> <p>教育に関する時事問題に関心を寄せてください。</p> <p>必要に応じて掲示や指導に応じてください。</p>					
<p>オフィスアワー</p> <p>各授業日の休憩時間および講義終了時に、質問、相談等に応じます。</p>					
<p>その他</p> <p>用件があれば、教育学部附属教師教育研究センターに来て下さい。</p>					

授業科目名	教育原論	担当教員	嘱託講師 中島 千恵		
開講年次及び学期	1年 後期	必修・選択の別	選択		
開講形態	講義(集中)とディスカッション	時間数	30	単位数	2
<p>授業概要</p> <p>すべての児童に豊かな学習を保障するには、どのような考え方や仕組みが大事なのだろうか。また、学習に困難を抱え、特別な配慮を必要とする児童のために、どのような教育、どのような配慮が教育者に求められているのだろうか。本講義が目指すのは、次の2点である。第1に現在の日本における幼児期から義務教育修了段階までの教育を支える理念を学び、人にとって教育という営みがいかなることなのかを広い視野で深く理解する。第2に特別な配慮を必要とする児童の問題に焦点を当て、特別支援教育、児童の虐待防止に関する法律、食育基本法などで求められる教育や教育関係者の責務などについて学び、学習に困難を抱える児童とともにすべての児童の教育を深く考える姿勢を培う。</p> <p>なお、本講義では、義務教育段階の教育を考える上で、幼児期の保育・教育を無視することができないという認識から、幼児期の保育・教育も含む。</p>					
<p>科目の達成目標</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 人にとって教育が持つ意味を問い、考えることができる。 (2) 公教育の基本原則、学習権を保障する仕組みを説明できる。 (3) 困難を抱える児童について、その背景を深く考え、教育関係者に何ができるか議論できる。 (4) 多様な児童の学習を支援する教師の使命や姿勢について省察できる。 					
<p>授業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) オリエンテーション(本授業の達成目標、課題などの理解と確認)、教育の目的を考える (2) 教育の意義と基本的働き (3) 発達と教育 (4) 児童観と幼児期の教育 (5) 日本における公教育の歴史と基本原則 (6) 学習権を保障する仕組み (7) 学校における危機管理 (8) 道徳教育 (9) 特別支援教育の基本理念 (10) 児童虐待防止法における教育関係者の義務 (11) 虐待の背景にある諸要因、教員の関わり方を考える (12) 学習と生活環境 (13) 教育方法の基本原則 (14) 保護者、学校内外の専門家との連携・支援 (15) 子育て支援と生涯学習 					
<p>授業の進め方</p> <p>この授業は、毎回ひとつのテーマに沿って講義形式で進めますが、時々ディスカッションやグループワークもします。</p>					
<p>授業キーワード</p> <p>学習権の保障、公教育、特別な配慮を必要とする児童、幼小連携、子育て支援</p>					
<p>成績評価の方法</p> <p>毎回の授業に関する課題 (80%)、授業中の提出物と宿題 (20%)</p>					
<p>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</p> <p>テキスト：特に指定しません。</p> <p>参考文献：授業中に紹介します。</p> <p>その他授業資料等：プリント、関連資料等を適宜配布します。</p>					
<p>オフィスアワー</p> <p>集中講義ですので、授業中にできなかった質問などは毎日、授業終了後に受け付けます。</p>					

授業科目名	人格発達心理学概説	担当教員	嘱託講師 堤 雅雄		
開講年次及び学期	1年 後期	必修・選択の別	選択		
開講形態	講義	時間数	30	単位数	2
<p>授業概要</p> <p>こどものこころ（幼児心性）の本質は何か。おとなのこころ（成熟心性）の本質とは何か。人格の発達的変容の様々な位相について、こどもとおとなの境界にあり、個体化と一体化の相反する願望の間で揺れ動く青年期を中核として、様々な日常感情や精神病理を通して、心理学的に解説していきます。</p>					
<p>科目の達成目標</p> <p>技術的，機械的な心理学に一元的に依拠するのではなく，一見相矛盾する精神力動を，あるがままに認識し，受容できるような人間観が形成されればと思います。</p> <p>a. 心理・発達の子ども理解 b. 学習者に対する教育学・心理学的理解 c. 問題発見</p>					
<p>授業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人生の四季：生涯発達についての心理学的視点 2. こどもであること，おとなであること 3. こどもとおとなの二重性 4. 二重心性の諸相 5. 希死念慮：象徴的死と再生 6. 自己意識：見る自己と見られる自己 7. 羞恥：青年期親和性 8. 羞恥の病理：対人恐怖症 9. 孤独感：個別性と共同性 10. 青年期の対人関係の病理 11. 空虚感：「自分の無さ」と「関係性の欠如」 12. 空虚感の病理：アパシィ 13. アイデンティティの拡散 14. 青年の幼児性：ナルシシズム 15. 青年期の終わり：おとなになること 16. 期末試験 					
<p>授業の進め方</p> <p>青年期の終わりに近い学生諸君自身を素材に，一緒に考えていきます。自分でも分からぬ自分，分かりあいたいけど分かり合えぬ他人の理解に資するところがあればと思っています。</p>					
<p>成績評価の方法</p> <p>随時のレポートと期末試験</p>					
<p>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</p> <p>テキスト：特に定めません。</p> <p>参考文献：堤 雅雄著，「矛盾する心，増補版」 晃洋書房 ￥2,400</p> <p>その他授業資料等：講義時に適宜配布します。</p>					
<p>オフィスアワー</p>					

授業科目名	教育社会学概説	担当教員	教育学部准教授 香川奈緒美		
開講年次及び学期	1年 後期	必修・選択の別	選択		
開講形態	講義	時間数	30	単位数	2
<p>授業概要</p> <p>本講義は「学校教育」と「社会」をめぐる様々な言説（常識的と思われるものの見方・考え方、「当たり前」の感覚など）を具体的に取り上げ、それらを相対化することから始めます。各講義のタイトルは下記の「授業の内容」に示すとおりです。原則としてこの通りに進めて行きますが、適宜、補論として内容を追加する場合があります。</p>					
<p>科目の達成目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育社会学の諸理論が判る（教育の理念・教育史・思想の理解）。 2. 教育社会学の諸理論に基づいて、現在の学校教育をめぐる様々な言説を相対化できる（学校教育の社会的・制度的・経営的理解，学習者に対する教育学・心理学的理解）。 3. 教育社会学の諸理論に基づいて、学校教育と社会とのかかわりをめぐる自分なりの考え方を持つことができる（教職の意義，教育関係時事問題）。 					
<p>授業内容</p> <p>第1講 教育社会学とは何か？</p> <p>第2講 デュルケムを学ぶ</p> <p>第3講 学校教育の歴史社会学</p> <p>第4講 近代学校教育制度の構造と機能</p> <p>第5講 「近代学校教育制度」という装置の出現</p> <p>第6講 戦後の教育改革と教育基本法</p> <p>第7講 近代学校教育の量的拡大</p> <p>第8講 2つのパラダイム：機能理論と葛藤理論</p> <p>第9講 「学歴」の社会学</p> <p>第10講 日本における「学歴主義」の出現と展開</p> <p>第11講 「日本的進路指導」の社会学</p> <p>第12講 個性化教育と教育の自由化</p> <p>第13講 「学校」の社会学(1)</p> <p>第14講 「学校」の社会学(2)</p> <p>第15講 授業のまとめと振り返り</p>					
<p>授業の進め方</p> <p>原則として、講義形式で進めます。</p>					
<p>授業キーワード</p> <p>大衆教育社会，再生産，公共性・私事化，教育の機会均等，教育改革</p>					
<p>成績評価の方法</p> <p>レポートにより，成績評価を行います。単位認定は大学の基準に準拠して行います。</p>					
<p>履修上の指導</p> <p>教育に関する時事問題に関心を持ち，自分なりの意見を持つように努めて下さい。また，図書館を最大限に活用し，参考文献を手がかりとした事前の予習／復習は不可欠です。</p>					

教科書・参考書・視聴覚・その他の教材

教科書：加藤芳正ほか編著 (2007) 『新設 教育社会学』玉川大学出版部

参考文献

毎回の講義に係る参考文献を、第1講の際に提示します。なお、新書は知識の宝庫です。次の文献を薦めます。苅谷剛彦 (1995) 『大衆教育社会のゆくえ』中公新書、同 (2002) 『教育改革の幻想』ちくま新書、同 (2003) 『なぜ教育論争は不毛なのか』中公新書ラクレ、藤田英典 (1997) 『教育改革』岩波新書、同 (2005) 『義務教育を問いなおす』、三浦 展 (1999) 『「家族」と「幸福」の戦後史』講談社現代新書、広田照幸 (1999) 『日本人のしつけは衰退したか』講談社現代新書、尾崎ムゲン (1999) 『日本の教育改革』中公新書、佐藤俊樹 (2000) 『不平等社会日本』中公新書、安田 雪 (1999) 『大学生の就職活動』中公新書。

その他授業資料等

本講義の講義資料 (PDF形式) を、島根大学総合情報処理センターのサーバーにアップしています。学生は各自でファイルをダウンロード 印刷して講義に臨んで下さい (講義資料はA4横×24頁です)。詳細は、第1講のさいに連絡します。

オフィスアワー

講義終了後の教室で、1時間をオフィスアワーとします。

その他

講義開始後15分以降の遅刻は退室していただくことになります。休講や補講の通知は掲示により行います。

授業科目名	教育相談の理論と方法	担当教員	嘱託講師 斎藤 渉		
開講年次及び学期	1年 後期	必修・選択の別	選択		
開講形態	講義	時間数	30	単位数	2
<p>授業概要</p> <p>この授業では、保健師、看護師、養護教諭など対人援助を行う専門職に、臨床心理学の考え方を通して、人間を全体的存在として理解することを学びます。そのためには、フロイトやユングが提唱した無意識という考え方が役立ちます。特に、演習ではイメージを通して無意識に触れ、その大切さに気付いていきます。</p>					
<p>G I O（一般目標）</p> <p>対人援助において大事なことは、相手の気持ちを理解し受容することですが、そのためには自己理解と、相手との信頼関係の構築が欠かせません。そのような関係性を通して人は心を癒していきます。この授業では無意識から発せられたイメージを媒体として、関係性についても深めていきます。</p>					
<p>S B O（行動目標）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床心理学が対人援助において有効な方法であることを知る。 2. 無意識という考え方が人間の内面を理解するのに役立つことを学ぶ。 3. 人間の心を理解するために心理検査が活用されていることを知る。 4. イメージを中心とした演習を通して、直接無意識を理解する。 5. 対人援助にとって大事な基礎知識や技法を習得する。 					
<p>成績評価の方法</p> <p>授業態度，出席日数，感想文，レポート試験等により総合評価する。</p>					
<p>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書 「臨床心理学」伊藤良子編著 ミネルヴァ書房 ・授業中に配布する資料や，視聴覚教材をもとにすすめる。 					
<p>オフィスアワー</p> <p>授業の前後</p>					

授業計画

回	月 日	授 業 内 容	備考
1	10月4日(水)	臨床心理学は何を目指しているか？	
2	10月18日(水)	不登校とひきこもり (ビデオ)	
3	10月25日(水)	こころのしくみと働きについて考える	
4	11月1日(水)	ぐるぐる絵画 (演習)	N202
5	11月8日(水)	「症状をもつ」とはどういうこと？	
6	11月15日(水)	「発達障害・知的障害をもつ」とはどういうこと？	
7	11月22日(水)	家族プレイ (演習)	N202
8	11月29日(水)	人間の心を理解するとはどういうこと？ (アセスメント)	
9	12月6日(水)	描画を通して自分を知る (演習)	N202
10	12月13日(水)	臨床心理学的援助を実践するために	
11	12月20日(水)	相手のところをとらえる面接の仕方 (演習)	N202
12	1月10日(水)	子どもや青年の生きている世界とそこで生じる心理的問題・課題とは？	
13	1月17日(水)	転移・逆転移について	
14	1月24日(水)	絵画療法におけるイメージの流れ (ビデオ)	
15	1月31日(水)	夢について学ぶ	

備 考

教 養 育 成 科 目
(松江キャンパス開講科目)

松江キャンパス開講教養育成科目一覧
(医学部生が受講可能な科目のみ)

コード	授業科目	担当教員	学期	曜	時限	履修資格等
入門科目（人文社会科学分野）						
E0A030	自己と世界	田中 一馬	後	金	3・4	
E0A060	日本人の宗教と死生観	山崎 亮	前	金	5・6	受講定員250名
E0A100	東アジアの歴史と文化	佐々木 愛	前	金	5・6	平成22年度以降入学生
E0A110	ユーラシアの歴史と民族	丸橋 充拓	前	金	1・2	
E0A140	小説の構造	武田 信明	前	金	3・4	
E0A200	日本経済を見る眼	宮本 恭子	後	金	1・2	受講定員100名
E0A240	国際農村開発概論	高田 晋史	後	金	5・6	
E0A290	基礎社会学	吹野 卓	前	金	3・4	受講定員380名
E0A340	現代芸術の世界	伊集院敬行	前	金	1・2	受講制限があります。シラバス参照のこと。初回受講生の中から抽選により受講生を決定するので、必ず初回授業に出席すること。
E0A460	現代社会と法・人権	高橋正太郎	後	金	5・6	受講制限あり
E0A480	国際化のなかの地域経済	保永 展利	後	金	1・2	
E0A510	基礎社会学	片岡 佳美	前	金	7・8	教室定員を上限とする。必ず初回授業に出席すること。
E0A550	問題解決の進め方	放送大学講師	前後	その他		放送大学科目（受講を希望する場合は、松江キャンパス学務課にお問合せください）
E0A610	グローバル化と私たちの社会	放送大学講師	前後	その他		
E0A620	市民自治の知識と実践	放送大学講師	前後	その他		
E0A530	コミュニケーション論序説	放送大学講師	前後	その他		
E0A540	日本語表現法	放送大学講師	前後	その他		
E0A560	市民と社会を考えるために	放送大学講師	前後	その他		
入門科目（自然科学分野）						
F0A010	初級微分積分学	岩本真裕子	前	金	3・4	履修者は法文学部、教育学部、人間科学部、医学部看護学科を優先する。高校の「数」を仮定しない。「実用微分積分学 A (A)」と「実用微分積分学 B (B)」を合わせて4単位取得しても卒業認定単位としては2単位までしか認めない。（「実用微分積分学 A」と「実用微分積分学 A」又は「実用微分積分学 B」と「実用微分積分学 B」の組み合わせで取得すること。）
F0A030	初級線形代数学	中田 行彦	前	金	5・6	高校の「数」を仮定しない。「実用線形代数学 A (A)」と「実用線形代数学 B (B)」を合わせて4単位取得しても卒業認定単位としては2単位までしか認めない。（「実用線形代数学 A」と「実用線形代数学 A」又は「実用線形代数学 B」と「実用線形代数学 B」の組み合わせで取得すること。）

コード	授業科目	担当教員	学期	曜	時限	履修資格等
F0A110	実用線形代数学 B	山田 拓身	前	金	5・6	総理工工学部数理・情報システム学科数理分野を除く。「実用線形代数学 A (A)」と「実用線形代数学 B (B)」を合わせて4単位取得しても卒業認定単位としては2単位までしか認めない。(「実用線形代数学 A」と「実用線形代数学 A」又は「実用線形代数学 B」と「実用線形代数学 B」の組み合わせで取得すること。)
F0A120	実用線形代数学 B	岩本真裕子	後	金	5・6	
F0A150	電気と磁気の物理学	水野 薫	前	金	3・4	
F0A160	物理のための数学入門	武藤 哲也	前	金	1・2	セミナー
F0A170	反応の化学	中田 健也	後	金	7・8	受講定員70名程度
F0A200	環境の化学	清家 泰	前	金	1・2	受講定員250名程度。初回の授業を受講した学生を優先します。
F0A340	物質と生命	松崎 貴	前	金	3・4	
F0A390	数の世界	青木 美穂	前	金	9・10	数理・情報システム学科以外の学生。受講定員100名
F0A410	日常生活の中の数学	中田 行彦	後	金	9・10	高校で「数」を受講していない者に限る。受講定員60名
F0A450	生命情報の科学	丸田 隆典	前	金	1・2	
F0A500	生物多様性と環境保全	石谷 正宇	前	集中		
F0A570	生態学入門	舞木 昭彦	前	金	5・6	受講定員100名
F0A590	自然科学はじめの一步	放送大学講師	前後	その他		放送大学科目(受講を希望する場合は、松江キャンパス学務課にお問合せください)
F0A540	科学的探究の方法	放送大学講師	前後	その他		
入門科目 (学際分野)						
G0A011	スタートアップセミナー B	鹿住 大助 他	前	金	3・4	1年生のみ。受講定員120名
G0A040	グローバル・イシュー：国際社会が抱える課題と対応	青 晴海	後	金	3・4	
G0A050	グローバル・チャレンジ：海外留学・インターン・ボランティアへの道筋	青 晴海	前	金	3・4	
発展科目 (人文社会科学分野)						
E0B130	英米の文学	ピーター・チェイニ	前	金	1・2	
E0B140	アメリカ短篇小説を読む	宮澤 文雄	前	金	3・4	受講定員20名。セミナー
E0B190	生涯発達の心理学	澤田 忠幸	前	集中		
E0B271	英語アカデミックスキル A	オカモト, マイケル	前	金	7・8	必修4単位(英語 A, B, A, B)を修得し、かつTOEIC (IPを含む) 500点以上の者
E0B272	英語アカデミックスキル B	オカモト, マイケル	後	金	9・10	
E0B273	英語アカデミックスキル C	カワカミ, サマンサ	前	金	5・6	
E0B281	グローバルビジネスコミュニケーション A	サルスギバー, ジェニファー	前	集中		必修4単位(英語 A, B, A, B)を修得した者、またはTOEIC (IPを含む) 500点以上の者 平成26年度以降入学生
E0B282	グローバルビジネスコミュニケーション B	未 定	後	集中		必修4単位(英語 A, B, A, B)を修得した者、またはTOEIC (IPを含む) 500点以上の者 平成26年度以降入学生

コード	授業科目	担当教員	学期	曜	時限	履修資格等
E0B286	上級TOEFLセミナーB	オカモト, マイケル	後		集中	必修4単位(英語 A, B, A, B)を修得した者,またはTOEIC(IPを含む)500点以上の者 平成26年度以降入学生
E0B293	グローバルリテラシー セミナー	リスクイ, カーメラ	前		集中	必修4単位(英語 A, B, A, B)を修得し,かつTOEIC(IPを含む)500点以上の者。受講定員20名程度。
E0B294	グローバルリテラシー セミナー	リスクイ, カーメラ	後		集中	グローバルリテラシーセミナーを修得した者。受講定員20名程度。
E0B295	上級TOEICセミナー	廣瀬 浩三	前		集中	必修4単位(英語 A, B, A, B)を修得し,かつTOEIC(IPを含む)500点以上の者。受講定員40名程度。
E0B296	上級TOEICセミナー	廣瀬 浩三	後		集中	上級TOEICセミナーを修得した者
E0B710	クロスカルチュラルアンダー スタンディング	オカモト, マイケル	前	金	9・10	必修4単位(英語 A, B, A, B)を修得した者,かつTOEIC(IPを含む)500点以上の者。受講定員40名程度。
E0B340	国際文化情報 A (フランス 語圏)	マズドブリュー, クリストフ	前	金	3・4	フランス語, フランス語, 計4単位既修者。隔年開講
E0B416	現代中国語セミナー A	ワン 王 欣	前		集中	中国語, 中国語, 計4単位既修者。E0A416「現代中国語セミナーA」とE0B385「現代中国語セミナーA」は,どちらか一方しか履修できない。
E0B417	現代中国語セミナー B	ソン 孫 ジュリン 樹林	後		集中	中国語, 中国語, 計4単位既修者。E0A417「現代中国語セミナーB」とE0B395「現代中国語セミナーB」は,どちらか一方しか履修できない。
E0B418	中国語スキルアップセミナーA	テイ 丁 ライ 雷	前		集中	中国語, 中国語, 計4単位既修者
E0B419	中国語スキルアップセミナーB	テイ 丁 ライ 雷	後		集中	中国語, 中国語, 計4単位既修者
E0B460	英語海外研修 A	青 晴海 他	前		集中	平成20年度以降入学生。ウォーター ル大学夏期研修会(事前指導を 含む)。受講生数制限有。既にウォ ータール大学夏期研修会に参加 した学生は受講できない。
E0B470	英語海外研修 B	青 晴海 他	後		集中	平成20年度以降入学生。アーカ ンソー大学春期研修会(事前指導を 含む)。受講生数制限有。既にアー カンソー大学春期研修会に参加 した学生は受講できない。
E0B481	英語海外研修 C (カリフォルニア州・海外基礎研修)	青 晴海	前		集中	受講定員5名
E0B482	英語海外研修 D (香港, シンガポール)	青 晴海	後		集中	受講定員5名
E0B483	英語海外研修 E (カリフォルニア州・国際 プロフェッショナル養成)	青 晴海	前		集中	受講定員5名
E0B484	英語海外研修 F (セントラルワシントン大学)	青 晴海	前		集中	受講定員5名
E0B485	英語海外研修 G (ヴァージニア・コモンウェルス大学)	香川奈緒美	前		集中	受講定員15名

コード	授業科目	担当教員	学期	曜	時限	履修資格等
E0B486	英語海外研修 H (ミシガン州立大学)	香川奈緒美	後		集中	受講定員15名
E0B490	異文化理解入門	佐藤 智照	後	金	5・6	留学生数と日本人学生数のバランスにより、受講生数制限有
E0B522	ビジネス英語海外研修	青 晴海	前		集中	
E0B530	大学で学ぶ世界史	鹿住 大助	後	金	9・10	受講定員40名
E0B532	大学で学ぶ世界史 B	鹿住 大助	後	金	7・8	受講定員40名。「大学で学ぶ世界史 A」「大学で学ぶ世界史 B」は同一内容のため、どちらか一方のクラスしか履修できない。
E0B569	中国語海外研修 C (北京語言大学)	テイ ライ 丁 雷	後		集中	1・2・3・4年。受講生数制限有。北京語言大学における研修。事前事後指導を含む。
E0B570	中国語圏の歴史と文化	青 晴海 他	通年		集中	1, 2, 3, 4年。受講生数制限有。国際交流センター担当 (海外研修)。
E0B580	韓国の文化と風土	青 晴海 他	前		集中	1, 2, 3, 4年。国際交流センター担当 (海外研修)
E0B590	現代中国を読む	内藤 忠和	後	金	3・4	中国語を半年以上履修していることが望ましい
E0B610	漢文史料を読む	丸橋 充拓 他	後	金	1・2	
E0B630	平和学	片岡 佳美 他	後	金	9・10	受講定員制限有り。受講希望者多数の場合、抽選を行う。
E0B660	市民生活と法	朝田 良作	前	金	9・10	
E0B690	医療から見た法の世界	朝田 良作	前	金	1・2	
E0B520	教育方法学セミナー	森 朋子	前	金	3・4	2年生以上
E0B020	キャリアの心理学	家島 明彦	前		集中	
E0B500	欧米の現代留学事情 - 欧米圏への留学を目指そう -	青 晴海	前	金	3・4	受講希望者多数の場合、調整を行うことがあります (最大50名程度)。24年度以降入学生。回によっては授業日時の変更の場合もあり
発展科目 (自然科学分野)						
F0B080	山陰の自然史	瀬戸 浩二	前	金	7・8	受講定員50名。セミナー
F0B130	データ解析の数理	内藤 貫太 他	前	金	3・4	3年生以上
F0B160	たたらと現代製鋼	大庭 卓也 他			集中	3年生以上
F0B220	情報と地域 - オープンソースと地域振興	野田 哲夫 他	後	金	9・10	2・3・4年生
F0B240	開発フレームワーク	野田 哲夫 他	前	金	7・8	受講定員 40名 履修資格についてはシラバス参照
F0B270	山陰地域の自然災害	田坂 郁夫 他	前	金	5・6	受講定員30名
発展科目 (学際分野)						
G0B060	長寿社会の健康なくらし	谷口 栄作 他	後	金	7・8	受講制限有り。遠隔講義実施可能 出雲キャンパス開講
G0B110	中山間地域フィールド演習	田中久美子			集中	2・3・4年生 受講定員40名程度
G0B340	酒 - 一杯の酒から覗く学問の世界	金山 富美 他	後	金	3・4	3年生以上 (医学部生に限り、1年生以上) : 受講定員40名程度 「酒 - 一杯の酒から学問を覗く」の単位取得者は履修できない。

コード	授業科目	担当教員	学期	曜	時限	履修資格等
G0B140	死と人間	田中 一馬 他	前	金	5・6	3年生以上
G0B150	フィールドで学ぶ 「斐伊川百科」	上園 昌武 他	前	金	5・6	1年生以上：受講定員各分野20名 「歴史と文化」「自然と科学」 「産業とくらし」
G0B220	島大ミュージアム学	會下 和宏 他	後	金	3・4	1年のみ
G0B232	地域づくり - 地域教育力 と地域活動の実際 -	仲野 寛	前	集中		G0B231「地域づくり - 地域教育力 の再生 -」の単位を修得した学生20名
G0B240	島根学	中野 洋平 他	前	金	7・8	1年生以上。受講定員380名
G0B251	環境問題通論A	松本 一郎 他	前	金	9・10	「環境問題通論B」の単位取得者は履修できない。
G0B253	環境教育フィールド科学	松本 一郎 他	前	集中		特別副専攻・環境教育プログラムの1つにあたる科目であり、同副専攻の知識・理解の総まとめ的な位置づけです。コア科目である環境問題通論Aもしくは環境問題通論B(2単位)に加えて選択科目から4科目(8単位)以上を既に修得した学生のみが受講可能とします。 また、既に修得したコア科目・選択科目の成績上位の5科目(10単位)のうち、少なくとも4科目(8単位)以上が「優」以上の評定でなければ「環境教育フィールド科学」を受講することはできません。
G0B271	学習の科学	御園 真史 他	後	集中		学部を問わず、教職課程履修者は特に受講を推奨します。履修者が50名を超えた場合は抽選を行う場合があります。
G0B350	mruByプログラミング	平川 正人	後	金	7・8	2・3・4年生 受講定員15名程度
G0B400	教育から地域を魅せる	鹿住 大助	前	集中		2年生以上 受講定員25名
G0B410	グローバル課題解決型研修 (タイ：観光開発の現状と課題)	青 晴海	前	集中		受講定員15名
社会人力養成科目 ※医学部学生が単位を修得しても、進級要件としては認められません						
H0A014	日本国憲法	谷口 智紀	前	金	3・4	医学部、総合理工学部物質科学 科化学分野のみ、生物資源科学部
H0A040	ジェンダー - 性を科学する -	鹿住 大助 他	後	金	5・6	1年生。受講定員300名。受講者多数の場合、初回の授業時に抽選を行います。
H0A140	島根の企業と経済	岩瀬 峰代	前	集中		
H0A170	地域未来論	高須 佳奈 他	後	金	7・8	

各科目の詳細は、島根大学ホームページ掲載のシラバスでご確認ください。

(シラバス検索システム http://www.shimane-u.ac.jp/education/school_info/lectures_data/)

松江キャンパス開講の授業については、下記までお問い合わせください。

島根大学教育・学生支援部 学務課学部・大学院教育グループ

全学共通教育担当

Tel : 0852 - 32 - 6053 (内線2417, 2418, 2446)

mail : epd-kkikaku@office.shimane-u.ac.jp

【掲載ページQRコード】



養護教諭一種免許状取得のための教職に関する科目の単位の修得方法

教職に関する科目	授業科目名	必修 単位	開講時期	開講場所	担当教員	備 考
教職の意義等に関する科目	教職概論C	2	1年前期	松江キャンパス	教育学部教授 権藤誠剛	集中講義
教育の基礎理論に関する科目	教育原論	2	1年後期	出雲キャンパス	嘱託講師 中島千恵	集中講義
	人格発達心理学概説	2	1年後期	松江キャンパス	嘱託講師 堤 雅雄	金5・6
	教育社会学概説	2	1年後期	〃	教育学部准教授 香川奈緒美	集中講義
教育課程に関する科目	教育課程論	2	2年前期	〃	嘱託講師 森 久佳	集中講義
	道徳及び特別活動論	2	2年後期	〃	教育学部准教授 西田忠男	集中講義
	視聴覚教育論	2	2年後期	出雲キャンパス (遠隔講義) N21, L3講義室	教育学部教授 権藤誠剛	木9・10
生徒指導及び 教育相談に関する科目	生徒・進路指導論	2	2年前期	松江キャンパス	嘱託講師 家島明彦	集中講義
	教育相談の理論と方法	2	1年後期	出雲キャンパス	嘱託講師 斎藤 渉	水1・2
養護実習	養護基礎実習事前・事後指導	1	3年前期	出雲キャンパス	講師 土江梨奈 他	
	養護基礎実習	2	3年前期	教育学部附属学校園		
	養護展開実習事前・事後指導	1	4年前期	出雲キャンパス		
	養護展開実習	2	4年前期	出雲市内小・中学校		
教職実践演習	教職実践演習(養護教諭)	2	4年通年	出雲キャンパス 他		
	合計単位数	26				

履修登録については、別途通知する。

平成29年度オフィスアワー一覧

講座	教員名	場所	時間帯
基礎看護学	内田 宏美 教授	5階	会議等で不在の場合が多いので、メールをください。 E-mail : uchi@med.shimane-u.ac.jp
	津本 優子 教授	5階	調整するのでメールください。 E-mail : tsumotoy@med.shimane-u.ac.jp
	小林 裕太 特任教授	2階	火曜日 18:00以降 メール (yutakoba@med.shimane-u.ac.jp) でのコンタクトOK
	福間 美紀 准教授	5階	メールで日程調整します。 E-mail : mk8592@med.shimane-u.ac.jp
	宮本まゆみ 講師	5階	日程を調整しますので、メールをください。 E-mail : mmiyamot@med.shimane-u.ac.jp
臨床看護学	矢田 昭子 教授	4階	適宜
	橋本 龍樹 教授	2階	日程を調整しますので、メールで連絡ください。 E-mail : ryuju@med.shimane-u.ac.jp
	福田 誠司 教授	3階	日程を調整しますので、メールで連絡ください。 E-mail : sfukuda@med.shimane-u.ac.jp
	秋鹿 都子 准教授	3階	日程を調整しますので、メールをください。 E-mail : aika@med.shimane-u.ac.jp
	瀧尻 明子 講師	4階	日程を調整しますので、メールをください。 E-mail : takijiri@med.shimane-u.ac.jp
	森山 美香 講師	4階	日程を調整しますので、メールをください。 E-mail : mika1969@med.shimane-u.ac.jp
	松浦 志保 講師	3階	日程を調整しますので、メールをください。 E-mail : shihom@med.shimane-u.ac.jp
地域・老年看護学	原 祥子 教授	5階	水曜日 12:00 ~ 13:00 適宜, メール (hara@med.shimane-u.ac.jp) でのコンタクトOK
	小笹 美子 教授	6階	日程を調整しますので、メールをください。 E-mail : yozasa@med.shimane-u.ac.jp
	加藤 真紀 准教授	5階	適宜
	榊原 文 講師	6階	適宜 E-mail : aya@med.shimane-u.ac.jp
	竹田 裕子 講師	6階	適宜 E-mail : y.takeda@med.shimane-u.ac.jp
	土江 梨奈 講師	6階	適宜 E-mail : thuchie@med.shimane-u.ac.jp